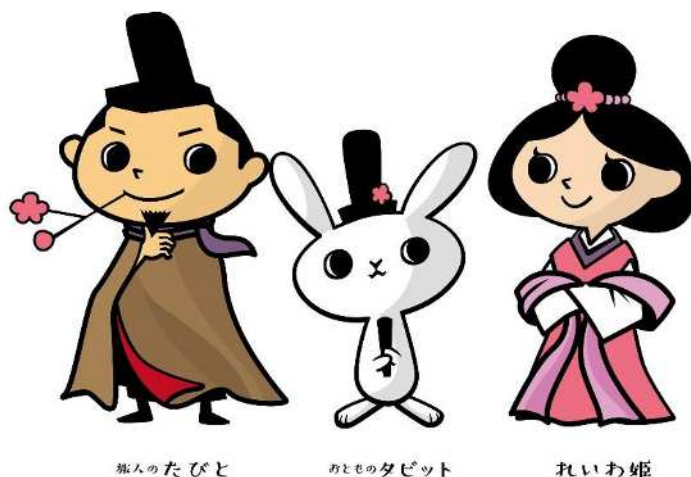

歴史と文化の環境税に関する意識調査 報 告 書



令和 8 年 3 月

太宰府市市民生活部税務課

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査仕様と回答者属性	1
(1) 来訪者	1
(2) 市民	2
(3) 駐車場事業者	2
3. 調査項目	3
4. 調査結果利用上の説明	4
第 2 章 調査の結果	5
I 総括	5
II 観光に対する取り組み	7
1. 太宰府市の感想	7
2. 太宰府市の観光施策への意見	8
III 渋滞について	9
1. 市内の交通渋滞の度合い	9
2. 市内の交通渋滞の変化状況	11
3. 市内の交通渋滞による生活への影響の有無.....	14
4. 交通渋滞解消のための対策	16
IV 歴史と文化の環境税について	17
1. 歴史と文化の環境税の認知状況	17
2. 歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況.....	18
3. 歴史と文化の環境税の使いみちの評価	20
(1) 歴史的文化遺産の保存活用	20
(2) 来訪者へのおもてなし	21
(3) 環境負荷改善（交通渋滞緩和）	22
4. 来訪者に財源を求める取り組みへの評価	23
5. 歴史と文化の環境税の今後のあり方	25
(1) 今後の継続意向	25
(2) 歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価.....	27
(3) 継続すべき理由	28
(4) 廃止すべき理由	29
(5) 見直すべき内容	30
6. 歴史と文化の環境税への意見	31
7. 特別徴収事務について	34

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

歴史と文化の環境税は、平成15年の制度導入から23年が経過したが、その間に太宰府市の観光動向など社会情勢は変化してきた。そこで、今後の施策に反映させるため、令和5年3月に引き続き、来訪者・市民・駐車場事業者はこの税の取組み等についての考え方をたずねた。

2. 調査仕様と回答者属性

(1) 来訪者

調査対象：一時的有料駐車場利用者（納税者）

調査地点：太宰府駐車センター(天満宮大駐車場)、奥苑駐車場

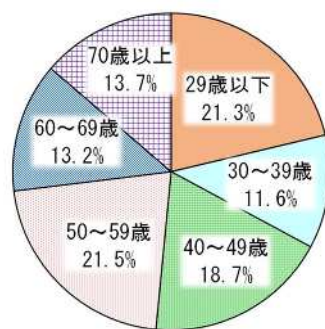
調査方法：対面調査

調査期間：令和7年11月7日(金)、11月8日(土)、11月9日(日)

回収状況：423件（平日 142件、土日 281件）

回答者属性

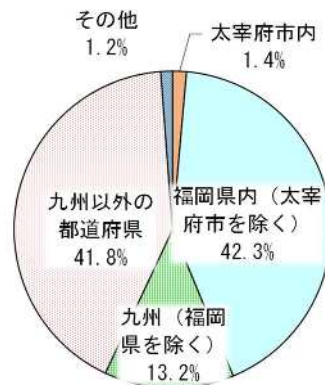
① 年齢（来訪者：問1）



全体 (N=423)

	回答数 (人)
全 体	423
29歳以下	90
30～39歳	49
40～49歳	79
50～59歳	91
60～69歳	56
70歳以上	58

② 居住地（来訪者：問2）



全体 (N=423)

	回答数 (人)
全 体	423
太宰府市内	6
福岡県内（太宰府市を除く）	179
九州（福岡県を除く）	56
九州以外の都道府県	177
その他	5

第1章 調査の概要

(2) 市民

調査対象：18 歳以上の太宰府市民 1,000 人

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法：郵送法

調査期間：調査票発送 令和 7 年 11 月 14 日(金)

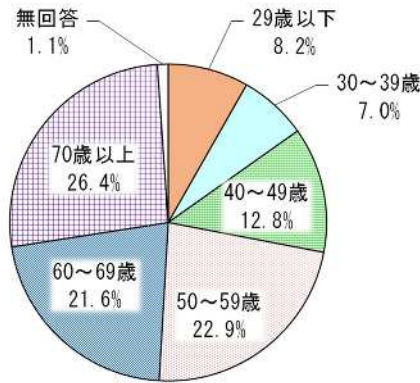
投函締切り 令和 7 年 12 月 15 日(月)、回収は 12 月 26 日(金)まで

※お礼ハガキ（未回答者への回答依頼を含む）を全対象者へ 12 月 2 日(火)に送付

回収状況：546 件（回収率 54.6%）

回答者属性

① 年齢（市民:問1）

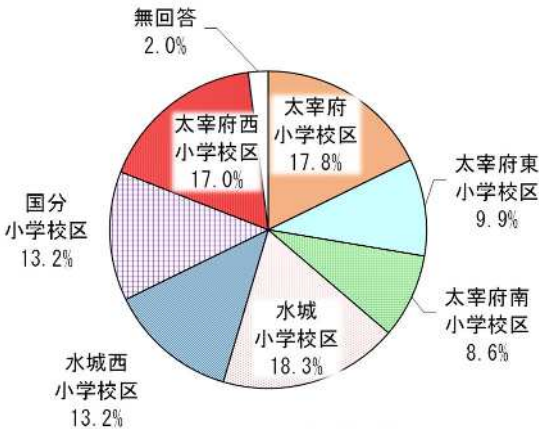


全体 (N=546)

	回答数 (人)
全 体	546
29歳以下	45
30～39歳	38
40～49歳	70
50～59歳	125
60～69歳	118
70歳以上	144
無回答	6

② 小学校区（市民:問2）

③



全体 (N=546)

	回答数 (人)
全 体	546
太宰府小学校区	97
太宰府東小学校区	54
太宰府南小学校区	47
水城小学校区	100
水城西小学校区	72
国分小学校区	72
太宰府西小学校区	93
無回答	11

(3) 駐車場事業者

調査対象：指定駐車場事業者（特別徴収義務者） 46 事業者

調査方法：郵送法

調査期間：調査票配布 令和 7 年 11 月 17 日（月）

投函締切り 令和 7 年 12 月 8 日（月）

※お礼状（未回答者への回答依頼含む）を全対象者へ 12 月 1 日（月）に送付

回収状況：33 件（回収率 71.7%）

3. 調査項目

分 類	設問(来訪者)		設問(市 民)		設問(駐車場事業者)	
あなた自身について	問1	年齢	問1	年齢		
	問2	住所(市内、県内、県外)	問2	住まい(小学校区)		
観光に対する取り組み	問3	太宰府市の感想				
	問4	太宰府市の観光施策への意見				
歴史と文化の環境税について	問5	歴史と文化の環境税の認知状況	問3	歴史と文化の環境税の認知状況		
	問6	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	問4	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	問1	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況
	問7	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)	問5	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)	問2	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)
	問8	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)	問6	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)	問3	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)
	問9	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)	問7	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)	問4	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)
	問10	来訪者に財源を求める取り組みへの評価	問8	来訪者に財源を求める取り組みへの評価	問5	来訪者に財源を求める取り組みへの評価
					問6	特別徴収事務について
	問11	歴史と文化の環境税の今後の継続意向	問9	歴史と文化の環境税の今後の継続意向	問7	歴史と文化の環境税の今後の継続意向
	問12	継続すべき理由	問10	継続すべき理由	問8	継続すべき理由
	問13	廃止すべき理由	問11	廃止すべき理由	問9	廃止すべき理由
	問14	見直すべき内容	問12	見直すべき内容	問10	見直すべき内容
	問15	歴史と文化の環境税への意見	問13	歴史と文化の環境税への意見	問11	歴史と文化の環境税への意見
渋滞について			問14	市内の交通渋滞の度合い		
			問15	市内の交通渋滞の変化状況		
			問16	市内の交通渋滞による生活への影響の有無		
			問17	交通渋滞解消のための対策		

4. 調査結果利用上の説明

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合がある。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」としている。
- (6) 二つ以上の選択肢を合計して表している比率については、該当選択肢の小数点以下第2位を四捨五入した回答比率の合計をもって算出しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- (7) 駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載としている。また来訪者および市民とのパーセンテージでの比較は行わない。
- (8) P20～P23、P27における「平均評定値」とは、「大いに評価する×4点」「やや評価する×2点」「あまり評価しない×-2点」「全く評価しない×-4点」で求めた合計を「わからない」「無回答」をのぞいた標本数で除して算出している。-4～4の数値で表され、値が4に近づくほど評価は高く、-4に近づくほど評価が低くなる。

第 2 章 調査の結果

第2章 調査の結果

I 総括

1 観光に関する取り組み《来訪者》

来訪者の太宰府市の感想についてみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」（77.1%）が最も高く、次いで「自然環境や景色が守られていると感じた」（44.2%）、「観光案内や道路が整備されていると感じた」（25.5%）の順となっている。

2 太宰府市の渋滞について《市民》

市民の市内の交通渋滞の度合いについてみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は90.3%となっている。

過去調査結果と比較すると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は前回調査結果より1.7ポイント増加しており、「いつも感じる」は4.4ポイント増加している。

市民の市内の交通渋滞の変化状況についてみると、「変わらない」（52.0%）が最も高く、次いで「悪化しつつある」（34.2%）の順となっている。

過去調査結果と比較すると、「変わらない」は前回調査結果より4.7ポイント減少しており、「悪化しつつある」は11.1ポイント増加している。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無についてみると、「ある」が52.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（26.9%）、「ない」（15.8%）の順となっている。

過去調査結果と比較すると、「ある」と「どちらともいえない」は前回調査結果より増加しており、「ない」は3.3ポイント減少している。

3 歴史と文化の環境税について《共通》

歴史と文化の環境税の認知状況についてみると、「知っていた」は来訪者が10.9%、市民が46.7%となっている。

歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況についてみると、「知っていた」は来訪者が5.7%、市民が28.8%となっている。また、駐車場事業者は「知っていた」が33件中27件となっており、「知らなかった」が同5件となっている。

歴史と文化の環境税の使いみちで「歴史的文化遺産の保存活用」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が93.1%、市民が88.4%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は33件中29件となっている。

歴史と文化の環境税の使いみちで「来訪者へのおもてなし」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が94.3%、市民が81.6%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は33件中31件となっている。

歴史と文化の環境税の使いみちで「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が87.0%、市民が86.0%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は33件中26件となっている。

来訪者に財源を求める取り組みへの評価についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が90.8%、市民が92.5%といずれも9割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は33件中22件となっている。

歴史と文化の境税の今後の継続意向についてみると、「継続すべきである」は来訪者が84.2%、市民が69.8%となっているのに対し、駐車場事業者では、33件中8件と低くなっている。

歴史と文化の環境税を「継続すべきである」理由についてみると、「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」（来訪者87.1%、市民76.6%）が最も高くなっており、来訪者では次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」（50.6%）、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」（25.6%）、市民では次いで「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」（65.1%）、「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」（60.1%）の順となっている。また、駐車場事業者は、「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」（8件中7件）が最も多くなっており、次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」と「年始の臨時駐車場設置など交通対策の整備によって渋滞が緩和される」（共に同4件）の順となっている。

また、「廃止すべきである」は、来訪者が0%、市民が1.5%となっているのに対し、駐車場事業者は33件中11件と割合が多くなっており、来訪者・市民との差が顕著に表れている。

歴史と文化の環境税を廃止すべき理由についてみると、市民は「まちづくりのためには、税で徴収するよりも寄付を募るほうがよい」（8件中5件）が最も多く、次いで「課税の理由がわかりづらい」（同4件）の順となっている。また、駐車場事業者は、「まちづくりのためには、税で徴収するよりも寄付を募るほうがよい」（11件中6件）が最も多くなっている。

歴史と文化の環境税の見直すべき内容についてみると、来訪者、市民共に「税の使いみちを見直す」（来訪者59.4%、市民55.2%）が最も高く、来訪者では次いで「税額を下げる」（21.9%）、市民では次いで「駐車場台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」の順となっている。また、駐車場事業者は「税額を下げる」と「駐車台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」（ともに14件中6件）が最も多く、次いで「税の使いみちを見直す」（同5件）の順となっている。

駐車場事業者が「歴史と文化の環境税」の特別徴収事務（特別徴収）についてどのように思うかについてみると、「ほとんど問題ない」（33件中20件）が最も多くなっており、次いで「事務が煩雑である」（同8件）の順となっている。

Ⅱ 観光に対する取り組み

1. 太宰府市の感想

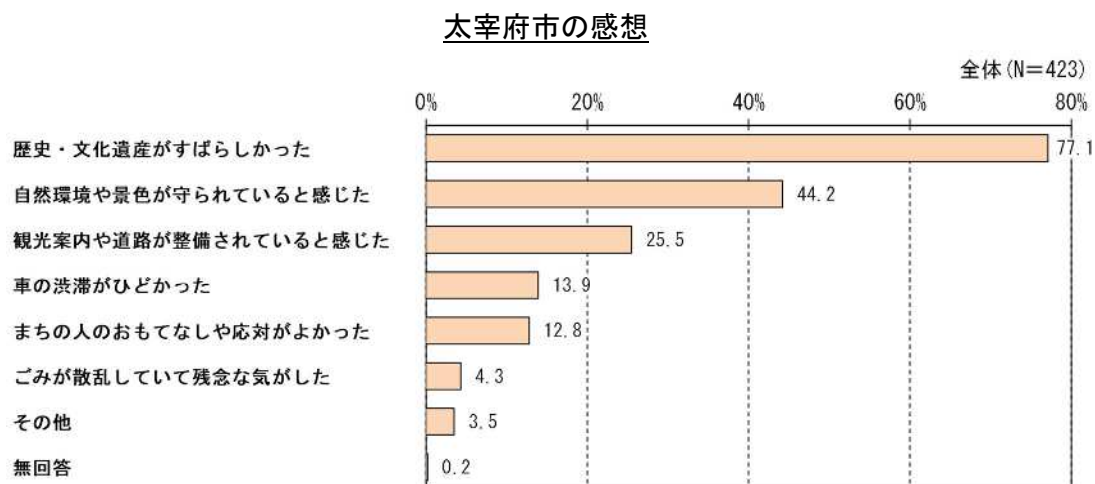
◆あなたは太宰府に来て、どのような感想をもちましたか。(来訪者：問3)

来訪者の太宰府市の感想についてみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」(77.1%)が最も高く、次いで「自然環境や景色が守られていると感じた」(44.2%)、「観光案内や道路が整備されていると感じた」(25.5%)の順となっている。

年齢別にみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」は70歳以上(82.8%)が最も高く、次いで40～49歳以上(81.0%)の順となっており、「自然環境や景色が守られていると感じた」は29歳以下(54.4%)が最も高くなっている。

居住地別にみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」は九州以外の都道府県(83.1%)が最も高く、「自然環境や景色が守られていると感じた」は福岡県内(太宰府市を除く)(45.8%)が最も高くなっている。なお、「まちの人のおもてなしや対応がよかった」は、九州(福岡県を除く)(19.6%)が最も高くなっている。

※太宰府市内はサンプル数が少ないため分析からは除外する。



太宰府市の感想(年齢別・居住地別)

単位：%

	サ ン プ ル 数	た が 歴 す ば ・ ら し 化 か 遺 産	と が 自 然 守 ら れ た 環 境 や い 景 色	る が 観 と 感 備 案 内 た れ や て 道 い 路	か 車 の た 渋 滞 が ひ ど	よ て ま か な ち の た や 人 の 対 お が も	しい ご た て み 残 が 散 乱 し が て	そ の 他	無 回 答
全 体	423	77.1	44.2	25.5	13.9	12.8	4.3	3.5	-
年 齢 別									
29歳以下	90	72.2	54.4	33.3	3.3	17.8	5.6	2.2	-
30～39歳	49	79.6	51.0	28.6	10.2	16.3	6.1	2.0	-
40～49歳	79	81.0	29.1	31.6	19.0	10.1	1.3	3.8	-
50～59歳	91	75.8	42.9	20.9	18.7	15.4	4.4	5.5	-
60～69歳	56	73.2	39.3	16.1	21.4	5.4	5.4	3.6	-
70歳以上	58	82.8	50.0	19.0	12.1	8.6	3.4	3.4	-
居 住 地 別									
太宰府市内	6	100.0	83.3	16.7	50.0	66.7	16.7	-	-
福岡県内(太宰府市を除く)	179	71.5	45.8	25.1	15.6	8.4	3.9	1.1	-
九州(福岡県を除く)	56	71.4	44.6	30.4	12.5	19.6	7.1	8.9	-
九州以外の都道府県	177	83.1	41.8	24.3	11.3	13.0	3.4	4.5	-
その他	5	100.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-

2. 太宰府市の観光施策への意見

◆太宰府市の観光施策について、もっと充実させたほうが良いと思う取り組みや、縮小・削減すべき無駄だと感じたことなど、お気づきの点がありましたらお聞かせください。(来訪者：問4)

太宰府市の観光施策について全体で159件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

太宰府市の観光施策への意見(主な意見)	年齢	居住地
◆交通環境の改善など(55件)		
歩道をもっと広げて歩行者が歩きやすくしてほしい。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
人が多いわりに、道しるべが良くできているので良い	50～59歳	九州以外の都道府県
渋滞が時期によって多くてそういう時の改善を考えてほしい。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
参道の人の流れをよくしてほしい。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
県道がせまくて車の渋滞が多く改善してもらいたい	60～69歳	九州以外の都道府県
車の渋滞が毎回あるので何か対策を考えて欲しい。	60～69歳	九州以外の都道府県
◆観光資源の整備(8件)		
ひとつの太宰府として史せきを結ぶため(天満宮のみでなく)、他の史跡をガイドを利用して回遊性を良くしてほしい(交通機関も必要だ)。	60～69歳	太宰府市内
橋などの説明がほしい。(テープでもよい)	60～69歳	九州以外の都道府県
太宰府市のユルキャラをもっと増して欲しい。	29歳以下	九州以外の都道府県
新しいお店より、昔ながらのお店を重点においてほしい	70歳以上	九州以外の都道府県
◆観光地の施設整備(57件)		
町づくりの為にコンビニなど太宰府らしいものに。スタバは良かった。	50～59歳	九州以外の都道府県
トイレの増設。観光客が多いので使用に時間がかかる。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
トイレがきれいだと思う。観光地はまだよごれているのが定番だが掃除して下さる方に感謝したいぐらい。	30～39歳	九州以外の都道府県
食べ歩きのごみが散っていた。外国人の来訪者についてマナーが悪い。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
政庁跡に復元されたり休めるところ等あるとよい。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
ゴミ箱。市がお金を払ってでも設置するべきだと思う。	40～49歳	九州(福岡県を除く)
ごみ箱は必要ないと思う。(車の人は車に持って帰りバスの人は、バス内のゴミ袋に入れば良いと思う)	29歳以下	福岡県内(太宰府市を除く)
休憩する椅子等があれば嬉しいです。	50～59歳	九州(福岡県を除く)
喫煙所が少ない。もっと充実させて下さい。	40～49歳	九州以外の都道府県
お店で食べ物を販売するだけで食べ残した物を捨てる場所が無い。ゴミの持ち帰りも分かりますが店側にはゴミ箱の設置が不可欠なのではと思います。	40～49歳	九州以外の都道府県
◆その他(39件)		
道の真ん中に止まって写真をとったりしている外国人が多くて困る。	40～49歳	九州(福岡県を除く)
店が沢山あって選ぶのに苦労する。特に梅ヶ枝餅。	50～59歳	九州以外の都道府県
街全体に活気があって景観がすばらしかった。	40～49歳	九州以外の都道府県
人ごみがすごく外国人にびっくり。	70歳以上	九州以外の都道府県
店舗の方の対応が良かった。	50～59歳	九州以外の都道府県
太宰府市はおもてなしの心がありとても親切で対応が良かった。又是非来訪します。	30～39歳	九州以外の都道府県
全てが整ってる。観光客にやさしい歩きやすい。	40～49歳	九州以外の都道府県
学業の神様へ来て、感激している。	70歳以上	九州以外の都道府県
インバウンドで外国人が来るのはいいいがマナーを守ってほしい。そういうガイドを増してほしい。	70歳以上	九州以外の都道府県

III 渋滞について

1. 市内の交通渋滞の度合い

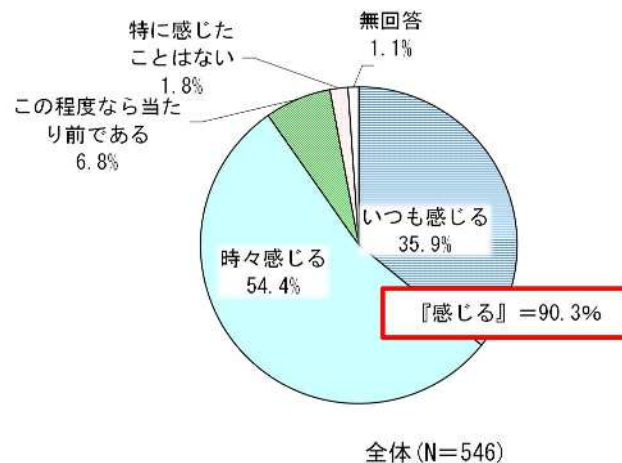
◆太宰府市内で生活する中で、交通渋滞を感じることはありますか。(市民：問 14)

市民の市内の交通渋滞の度合いについてみると、『感じる』(「いつも感じる」と「時々感じる」の合計)は90.3%となっている。

年齢別にみると、『感じる』(「いつも感じる」と「時々感じる」の合計)は30～39歳(94.8%)が最も高く、次いで40～49歳(94.3%)の順となっている。

小学校区別にみると、『感じる』(「いつも感じる」と「時々感じる」の合計)は太宰府東小学校区(98.2%)が最も高くなっており、太宰府南小学校区(82.9%)が最も低くなっている。

市内の交通渋滞の度合い



市内の交通渋滞の度合い(年齢別・小学校区別)

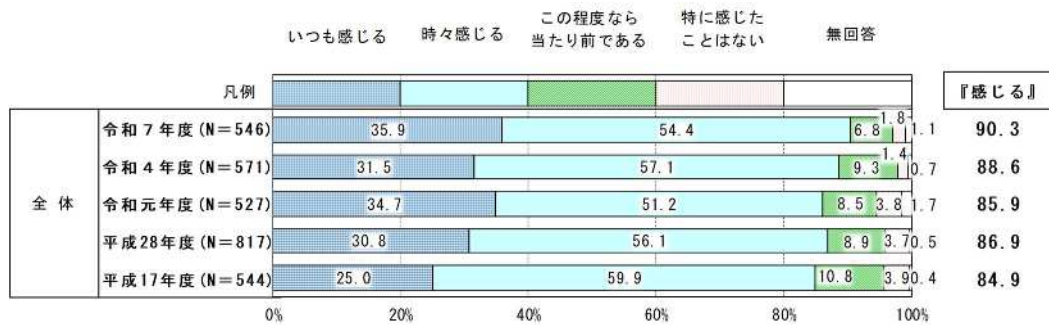
		単位：%					
		サンプル数	いつも感じる	時々感じる	この程度なら当たり前である	特に感じたことはない	無回答
全 体		546	35.9	54.4	6.8	1.8	1.1
年 齢 別	29歳以下	45	33.3	60.0	6.7	—	—
	30～39歳	38	31.6	63.2	2.6	2.6	—
	40～49歳	70	35.7	58.6	2.9	1.4	1.4
	50～59歳	125	37.6	49.6	8.8	2.4	1.6
	60～69歳	118	38.1	50.0	10.2	0.8	0.8
	70歳以上	144	34.0	56.3	5.6	2.8	1.4
	無回答	6	50.0	50.0	—	—	—
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	97	60.8	37.1	1.0	—	1.0
	太宰府東小学校区	54	35.2	63.0	—	1.9	—
	太宰府南小学校区	47	34.0	48.9	12.8	2.1	2.1
	水城小学校区	100	37.0	54.0	8.0	1.0	—
	水城西小学校区	72	25.0	58.3	13.9	2.8	—
	国分小学校区	72	31.9	56.9	8.3	1.4	1.4
	太宰府西小学校区	93	21.5	65.6	6.5	3.2	3.2
	無回答	11	36.4	54.5	—	9.1	—

第2章 調査の結果

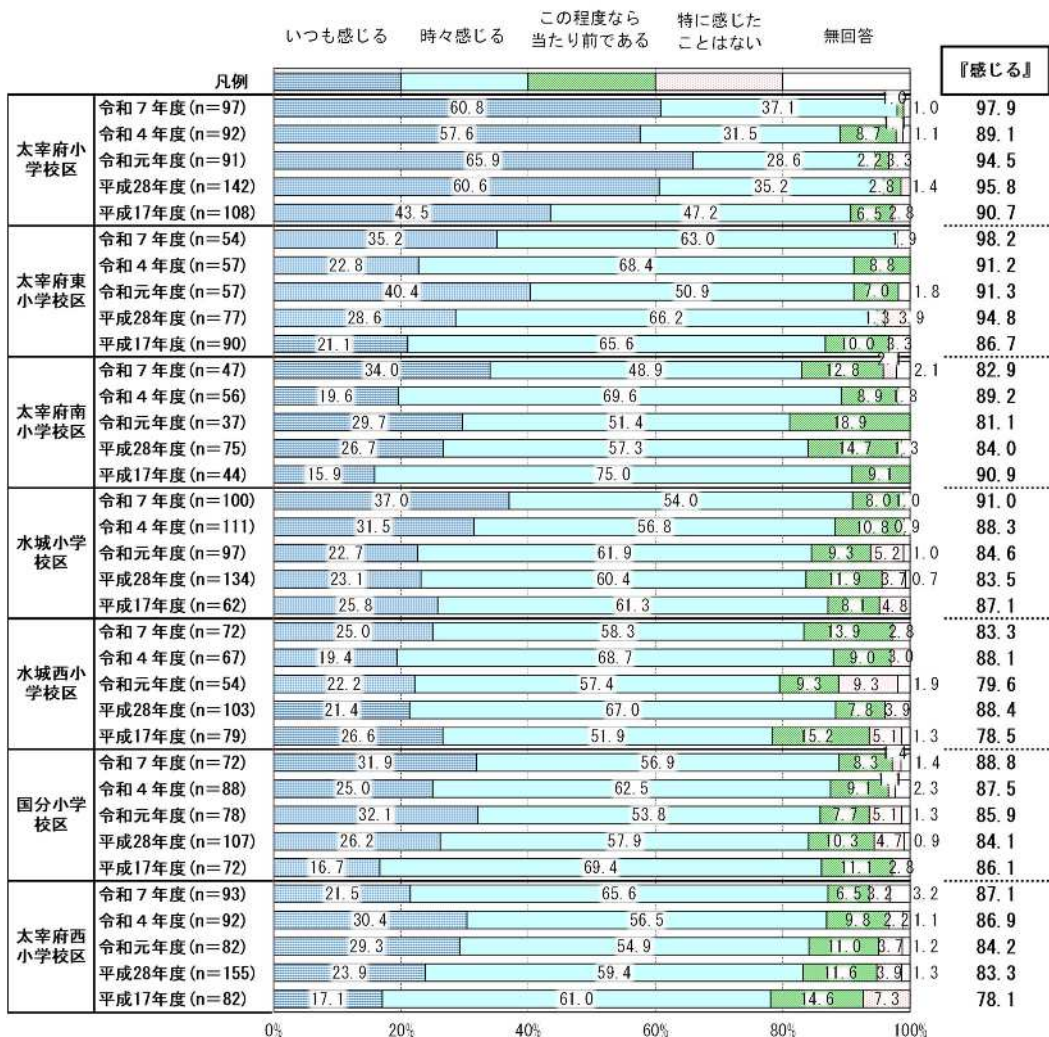
過去調査結果と比較すると、全体では、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は前回調査結果より 1.7 ポイント増加しており、「いつも感じる」は 4.4 ポイント増加している。

小学校区別では、7 校区のうち 5 校区が前回調査結果より増加している。また、太宰府南小学校区では『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）が前回調査結果より 6.3 ポイント減少している。

市内の交通渋滞の度合い（時系列比較）



市内の交通渋滞の度合い（小学校区別時系列比較）



2. 市内の交通渋滞の変化状況

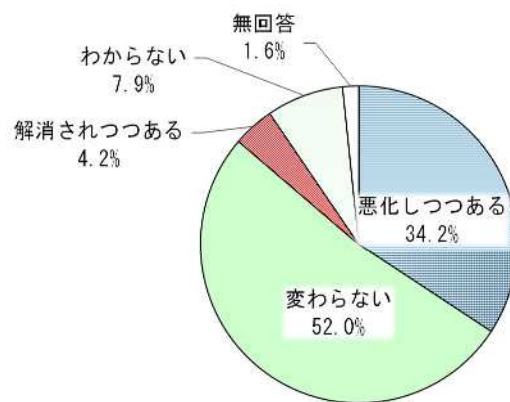
◆ここ2、3年、市内の交通渋滞の程度はどのように変化していると思いますか。(市民：問15)

市民の市内の交通渋滞の変化状況についてみると、「変わらない」(52.0%)が最も高く、次いで「悪化しつつある」(34.2%)の順となっている。

年齢別にみると、「変わらない」は40～49歳(65.7%)が、「悪化しつつある」は60～69歳(39.0%)が、それぞれ他の年齢より高くなっている。

小学校区別にみると、「変わらない」は太宰府西小学校区(57.0%)が、「悪化しつつある」は太宰府小学校区(46.4%)が、それぞれ他の小学校区より高くなっている。

市内の交通渋滞の変化状況



全体 (N=546)

市内の交通渋滞の変化状況 (年齢別・小学校区別)

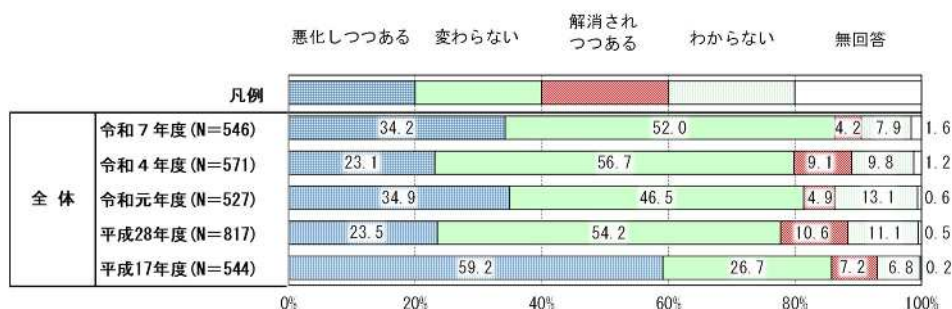
単位：%

	サンプル数	悪化しつつある	変わらない	解消されつつある	わからない	無回答
全 体	546	34.2	52.0	4.2	7.9	1.6
年 齢 別	29歳以下	17.8	62.2	6.7	13.3	—
	30～39歳	28.9	57.9	2.6	10.5	—
	40～49歳	22.9	65.7	1.4	10.0	—
	50～59歳	37.6	44.0	4.8	12.0	1.6
	60～69歳	39.0	49.2	5.9	2.5	3.4
	70歳以上	38.9	50.0	3.5	5.6	2.1
	無回答	50.0	50.0	—	—	—
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	46.4	47.4	1.0	3.1	2.1
	太宰府東小学校区	31.5	50.0	5.6	13.0	—
	太宰府南小学校区	44.7	42.6	8.5	4.3	—
	水城小学校区	27.0	55.0	6.0	9.0	3.0
	水城西小学校区	29.2	55.6	4.2	9.7	1.4
	国分小学校区	36.1	55.6	2.8	5.6	—
	太宰府西小学校区	25.8	57.0	3.2	10.8	3.2
	無回答	54.5	27.3	9.1	9.1	—

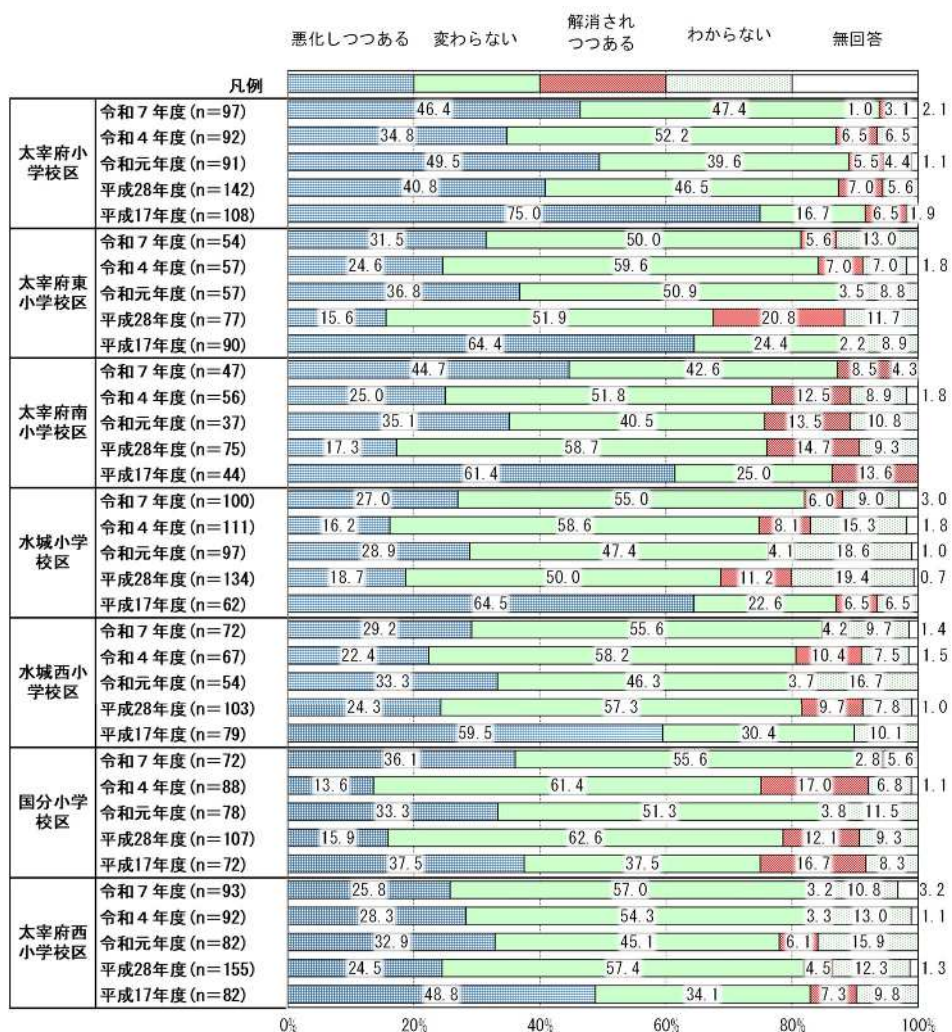
過去調査結果と比較すると、全体では、「変わらない」は前回調査結果より4.7ポイント減少しており、「悪化しつつある」は11.1ポイント増加している。

小学校区別には、「変わらない」は、太宰府西小学校区を除くすべての小学校区において前回調査結果より減少している。また、「悪化しつつある」は、太宰府西小学校区を除くすべての小学校区において前回調査結果より増加しており、特に国分小学校区では22.5ポイント増加している。

市内の交通渋滞の変化状況（時系列比較）



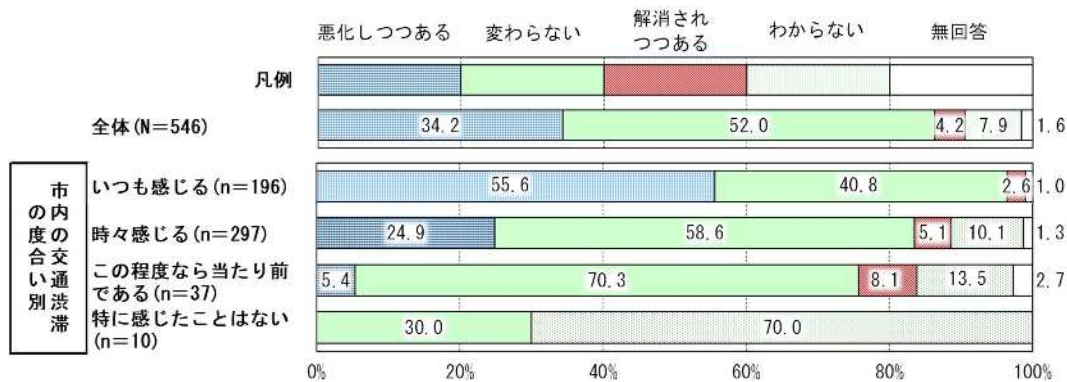
市内の交通渋滞の変化状況（小学校区時系列比較）



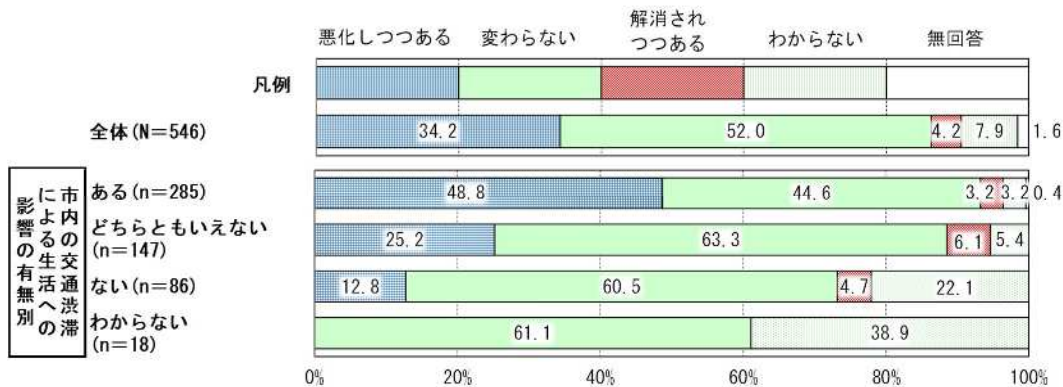
市内の交通渋滞の度合い別にみると、「変わらない」と回答した人は、この程度なら当たり前であると回答した人（70.3%）が最も高くなっており、次いで渋滞を時々感じると回答した人（58.6%）の順となっている。また、「悪化しつつある」と回答した人は、渋滞をいつも感じると回答した人（55.6%）が最も高くなっており、次いで渋滞を時々感じると回答した人（24.9%）の順となっている。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無別についてみると、「変わらない」と回答した人は、どちらともいえないと回答した人（63.3%）が最も高くなっており、次いで生活への影響がないと回答した人（60.5%）の順となっている。また「悪化しつつある」と回答した人は、生活への影響があると回答した人（48.8%）が最も高くなっており、次いでどちらともいえないと回答した人（25.2%）の順となっている。

市内の交通渋滞の変化状況（市内の交通渋滞の度合い別）



市内の交通渋滞の変化状況（市内の交通渋滞による生活への影響の有無別）



3. 市内の交通渋滞による生活への影響の有無

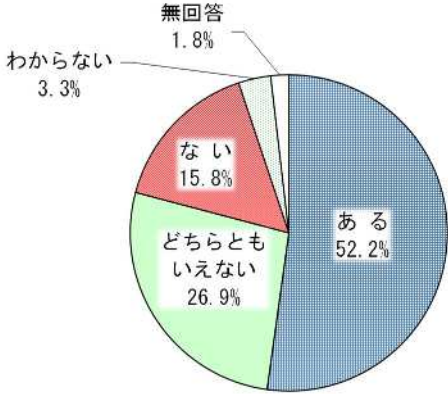
◆多くの観光客が自動車やバスを利用して訪れていますが、あなたは、観光客による交通渋滞で、生活上や業務上の支障を感じることはありますか。(市民：問16)

市内の交通渋滞による生活への影響の有無についてみると、「ある」が 52.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(26.9%)、「ない」(15.8%) の順となっている。

年齢別にみると、すべての年齢層で「ある」が最も高くなっており、次いで、「どちらともいえない」、「ない」の順となっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区を除いたすべての小学校区で「ある」が最も高くなっており、太宰府小学校区では「ある」が 78.4%と 8 割弱と、他の小学校区より高くなっている。太宰府西小学校区では「どちらともいえない」が (37.6%) と最も高くなっている。なお、水城西小学校では「ある」と「どちらともいえない」がともに 34.7%となっている。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無



全体 (N=546)

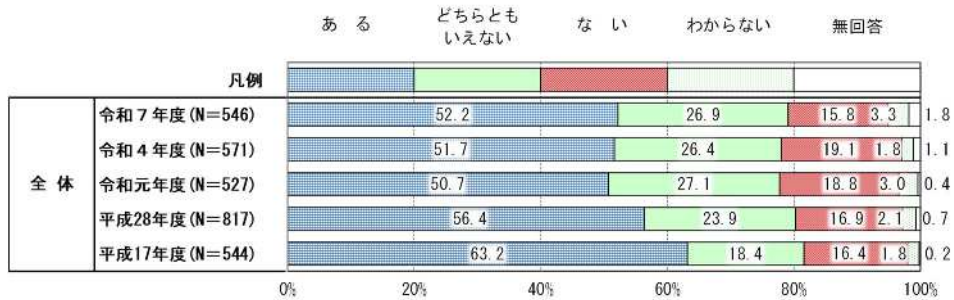
市内の交通渋滞による生活への影響の有無（年齢別・小学校区別）

		単位：%					
		サンプル数	ある	どちらともいえない	ない	わからない	無回答
全 体		546	52.2	26.9	15.8	3.3	1.8
年 齢 別	29歳以下	45	48.9	33.3	13.3	4.4	—
	30～39歳	38	57.9	18.4	7.9	15.8	—
	40～49歳	70	51.4	27.1	18.6	2.9	—
	50～59歳	125	56.0	24.8	16.0	1.6	1.6
	60～69歳	118	50.0	28.0	17.8	0.8	3.4
	70歳以上	144	50.0	27.8	16.0	3.5	2.8
	無回答	6	66.7	33.3	—	—	—
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	97	78.4	12.4	6.2	1.0	2.1
	太宰府東小学校区	54	57.4	31.5	3.7	5.6	1.9
	太宰府南小学校区	47	53.2	29.8	12.8	4.3	—
	水城西小学校区	100	54.0	23.0	17.0	2.0	4.0
	水城西小学校区	72	34.7	34.7	23.6	5.6	1.4
	国分小学校区	72	51.4	23.6	23.6	1.4	—
	太宰府西小学校区	93	33.3	37.6	21.5	5.4	2.2
	無回答	11	54.5	36.4	9.1	—	—

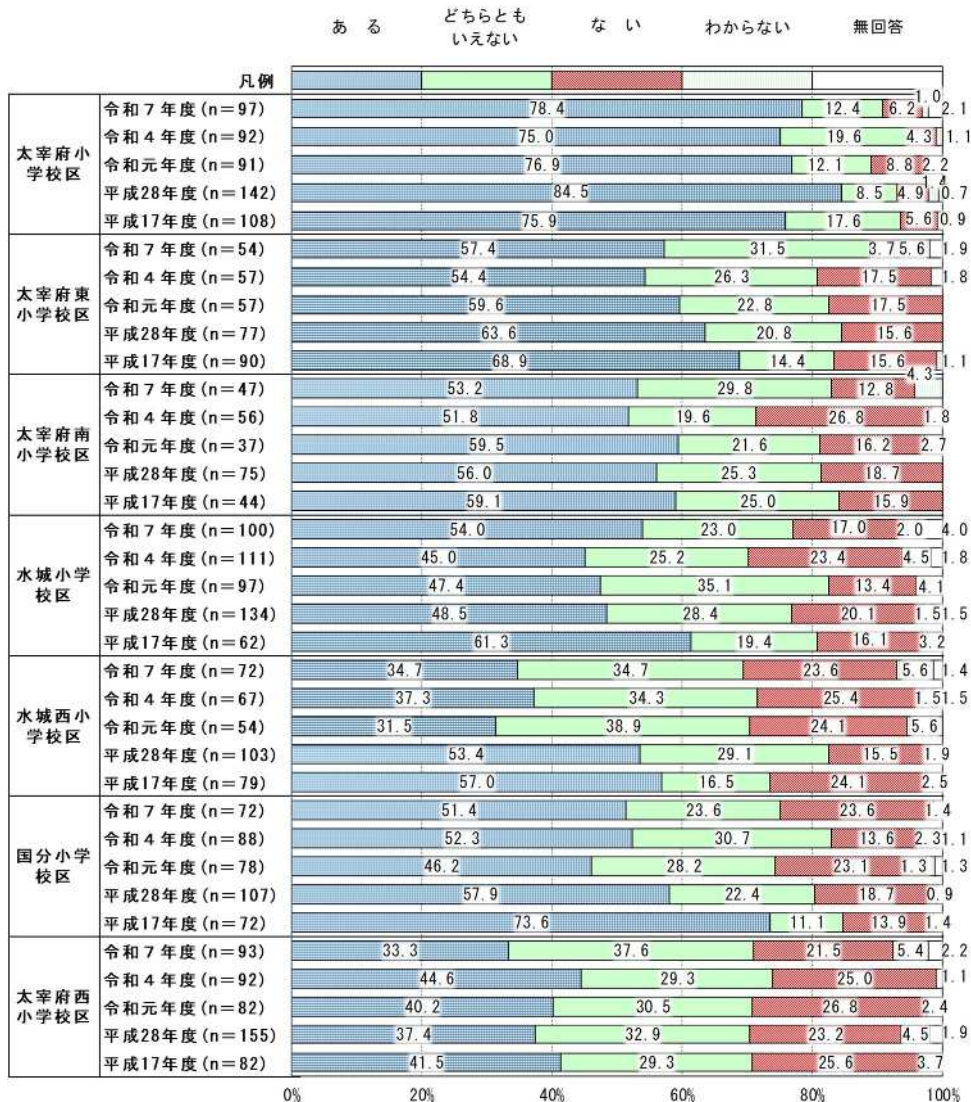
過去調査結果と比較すると、全体では、「ある」と「どちらともいえない」は前回調査結果より増加しており、「ない」は3.3ポイント減少している。

小学校区別では、「ある」は、前回調査結果より7校区のうち4校区が増加しており、3校区が減少している。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無（時系列比較）



市内の交通渋滞による生活への影響の有無（小学校区別時系列比較）



4. 交通渋滞解消のための対策

◆交通渋滞解消のために今後、どのような対策をとったらよいと考えますか。(市民：問17)

太宰府市内の交通渋滞解消策について、市民から全体で266件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

交通渋滞解消のための対策	年齢	居住地
◆公共交通機関利用やパークアンドライドの促進(45件)		
年末年始の渋滞に対応すべく、太宰府市民は電車料金無料(天満宮まで)にして、電車利用をすすめる。	50～59歳	水城小学校区
電車利用の方に何か特典のような？楽しみがあると良い。電車移動して観光することの魅力を伝えていく。	50～59歳	太宰府西小学校区
太宰府から博多駅や天神方面へ行く直通のバスの本数をもっと増やしてほしい。積極的に交通機関を観光客につかってもらう。福岡市のように、中心部から少しはなれた駐車場をつかうとバス代を負担する等利用車にもメリットを感じてもらえるような制度があると良いかもしれない。	40～49歳	太宰府小学校区
自動車やバスの乗り入れ制限、公共交通機関の使用、バス専用レーンの設置。	30～39歳	水城小学校区
観光客に自動車だけでなくバス・電車を利用してもらうために、バス・電車のセットにしたフリーパスなんかあったらいいのでは。	60～69歳	太宰府東小学校区
JR太宰府新駅の設定。	40～49歳	国分小学校区
	50～59歳	太宰府東小学校区
◆道路や駐車場の新設・拡充、整備。渋滞情報配信など利便性向上(104件)		
歩車分離信号の大量導入(天満宮周辺に限らず)	50～59歳	国分小学校区
年末年始の交通渋滞は緩和していて良かったと思う。太宰府インター入口の道路拡幅。	29歳以下	水城西小学校区
道路状況をより詳しく、分かりやすく情報提供できるシステムの充実のための整備。	50～59歳	太宰府西小学校区
天満宮に行ける道を考えなおした方がいい。	70歳以上	太宰府小学校区
太宰府駅と五条の交差点間が著しく渋滞するので、一方通行の図路の表示など、ソフト的にできることを検討してもらいたい。	60～69歳	太宰府小学校区
高雄交差点～大佐野までの信号の見直し。	40～49歳	太宰府南小学校区
少し離れた位置での大型駐車場の確保と、そこからのシャトルバスの活用等。	60～69歳	水城小学校区
渋滞道路については時差式が少ないためムリやり入りこみが多くなったと感じます。時差式信号機の導入を検討願います。	40～49歳	太宰府東小学校区
五条交差点に、右左折信号をとり入れて欲しい。又、観光バスも大型化しているので右折の規制をしてほしい。	70歳以上	太宰府小学校区
桁違いのお金が必要と思うが、将来に向けては車道の拡張が必要と思う。	70歳以上	水城小学校区
観光客の方が住宅地の間の狭い道路を通過して天満宮まで行こうとしていることが多く、右折待ちで渋滞がよく起こります。政庁跡前の大通りなどの広い道路を通過してもらえるように案内表示などを増やしてもらえると嬉しいですね。	29歳以下	水城小学校区
◆通行規制や道路利用ルールの変更(41件)		
抜け道となっている狭い道路に車が多くなって、スピードを出している車がある。子供達に危ないため、道路に凹凸版などを設置してスピードが出ない様にしてほしい。	60～69歳	太宰府西小学校区
正月の交通規制の日数を増やして欲しい。	60～69歳	太宰府南小学校区
自動車やバスの乗り入れ制限。公共交通機関の使用。バス専用レーンの設置。	60～69歳	太宰府東小学校区
交通渋滞とは関係ないけれど、お正月などの交通規制の際に仕事に行く場合、渋滞をさけられないのはとても不便なので、地域住民だけでも通れるようにしてほしいです。	29歳以下	水城小学校区
交通規制(天満宮)、年始だけでなく1月～3月の休日も規制してほしい。	60～69歳	水城小学校区
正月の交通規制、通行規制時に交通誘導員が地元車を見分けられる通行手形のようなものを交付してほしい。	29歳以下	太宰府小学校区
◆その他(89件)		
年末年始の誘導があり、だいぶ動きやすくなりました。行事毎における渋滞が緩和されていけば、もっと生活しやすくなるのではと思います。	50～59歳	水城小学校区
日本遺産を取り消されたように、太宰府天満宮に集中する状況の改善が急務。全国的に見たらそれほど知名度のない太宰府天満宮に頼るよりも市の魅力を発掘する努力をすれば分散→交通渋滞解消につながると思うが。	60～69歳	太宰府小学校区
都府楼前駅の高架化を実現してほしい。朝、夕方の渋滞緩和になる。	40～49歳	国分小学校区
駐車場も以前より増えたとし、電車の本数も多いので、これ以上仕方ない事だと思っています。皆さんが太宰府に行ってみたいと思ってくれるのは嬉しい気持ちです。	60～69歳	太宰府小学校区
太宰府市役所から天満宮に向かって車を運転していると、五条の信号で、セブンイレブン側に右折する車がなかなか曲れなくて困る。地元民だけでなく、観光客も多い場所なので何か対策を求めます。	30～39歳	太宰府東小学校区
ここ2、3年は交通規制の効果により、以前よりも交通渋滞が緩和されていると感じる。観光客とは関係無いが、国分・水城小校区の住宅がかなり増加しているため、朝の交通渋滞が悪化していると感じる。	29歳以下	国分小学校区
車の交通量を減らすため、自転車のレンタルなどをしたら良いと思う。	29歳以下	国分小学校区
一番混む天満宮の所に市役所があるのが、いかがなものか。ただでさえ多いのに市役所に行くのに時間がかかってしょうがない。渋滞解消の1つとして別の所に市役所を移してほしい。	60～69歳	太宰府西小学校区

IV 歴史と文化の環境税について

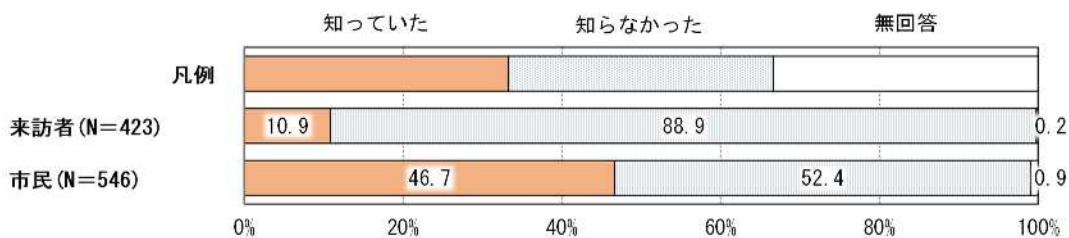
1. 歴史と文化の環境税の認知状況

◆太宰府市では、歴史的文化遺産の保全整備、観光施策及び環境保全のための財源の確保として、一時有料駐車場を利用する人に対して、平成15年から法定外税（太宰府市独自の税）である「歴史と文化の環境税」を導入しています。あなたは、この税金のことを知っていましたか。
（来訪者：問5、市民：問3）

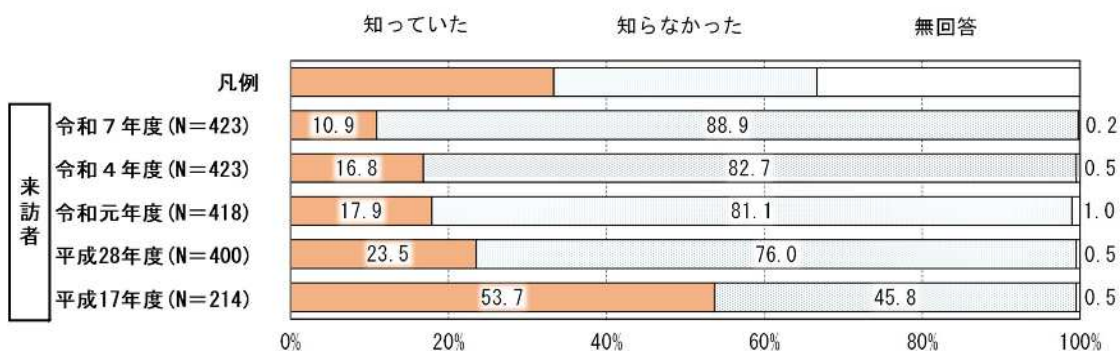
歴史と文化の環境税の認知状況についてみると、「知っていた」は来訪者が10.9%、市民が46.7%となっている。

前回調査結果と比較すると、「知っていた」は来訪者で5.9ポイント、市民で8.6ポイント減少している。

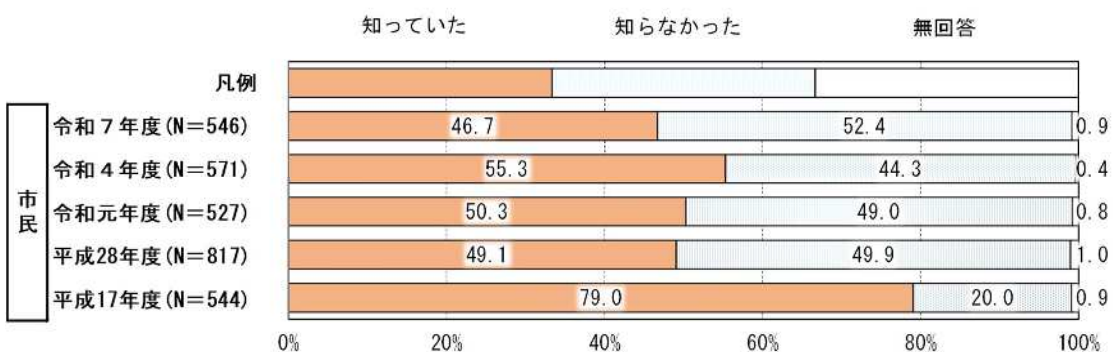
歴史と文化の環境税の認知状況（来訪者・市民）



歴史と文化の環境税の認知状況（来訪者時系列比較）



歴史と文化の環境税の認知状況（市民時系列比較）



2. 歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況

◆あなたは、この税が上記のような「まちづくり」に使われていることを知っていましたか。

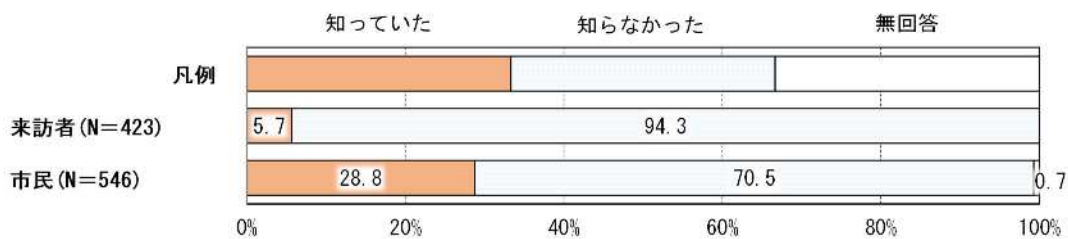
（来訪者：問6、市民：問4、駐車場事業者：問1）

歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況についてみると、「知っていた」は来訪者が5.7%、市民が28.8%となっている。また、駐車場事業者は「知っていた」が33件中27件となっており、「知らなかった」が同5件となっている。

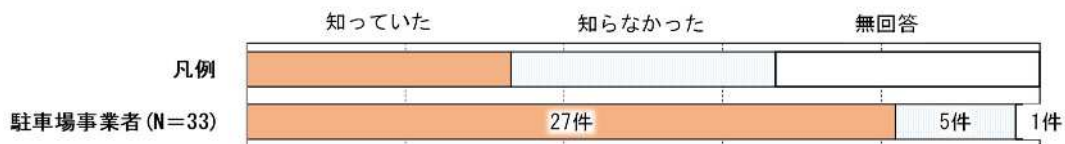
前回調査結果と比較すると、「知っていた」は来訪者で7.8ポイント、市民では2.5ポイント減少している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

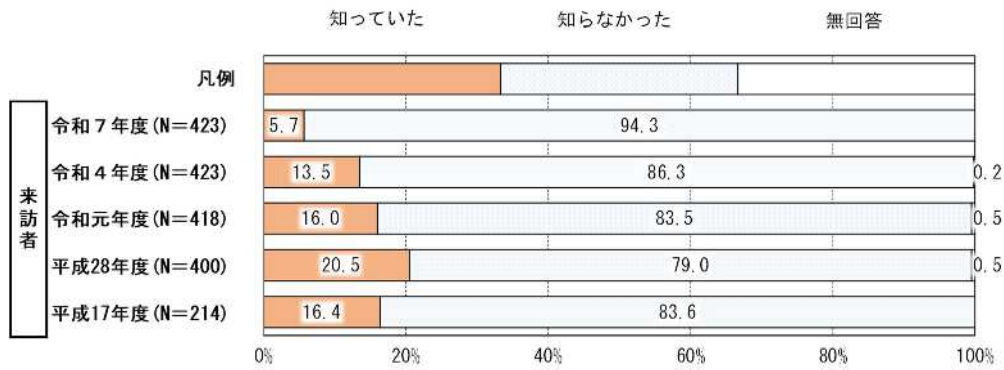
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（来訪者・市民）



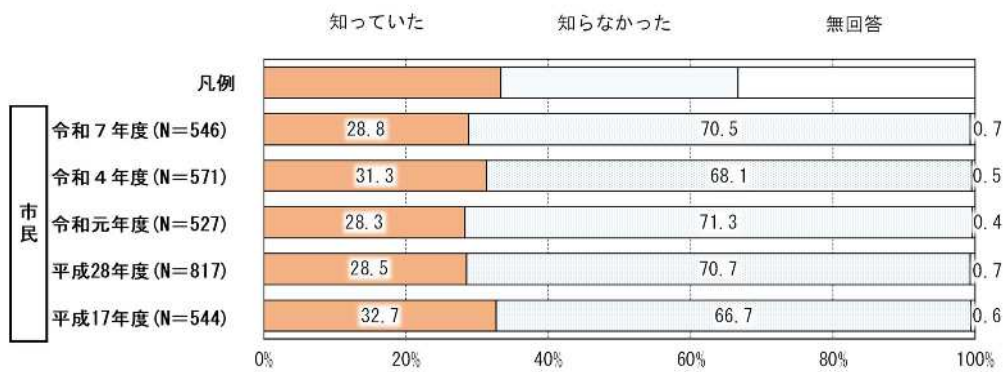
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（駐車場事業者）



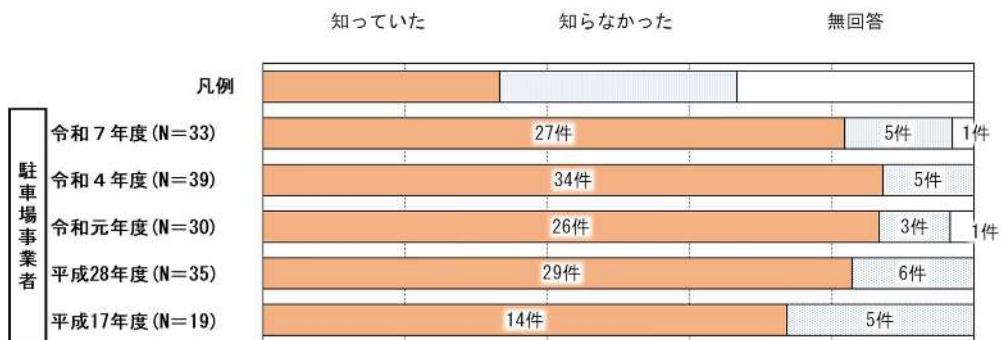
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（来訪者時系列比較）



歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（市民時系列比較）



歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（駐車場事業者時系列比較）



3. 歴史と文化の環境税の使いみちの評価

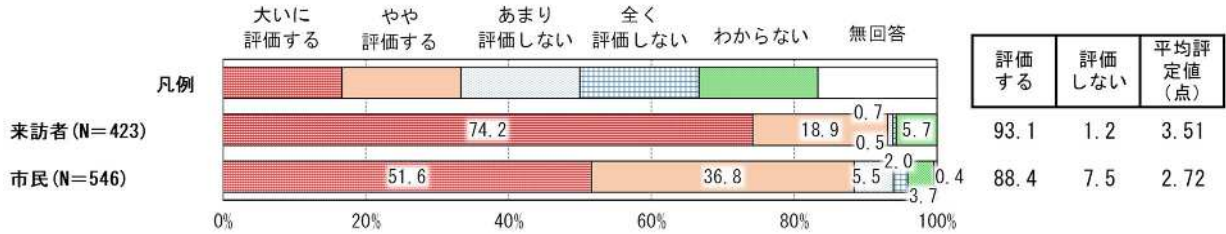
(1) 歴史的文化遺産の保存活用

◆あなたは、この税が「歴史的文化遺産の保存活用」に使われていることについて、どのように思いますか。(来訪者：問7、市民：問5、駐車場事業者：問2)

歴史と文化の環境税の使いみちで「歴史的文化遺産の保存活用」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が93.1%、市民が88.4%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が33件中29件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同2件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

歴史的文化遺産の保存活用（来訪者・市民）



歴史的文化遺産の保存活用（駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

《参考》 歴史的文化遺産の保存活用 [令和4年度結果]

	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者 (%)	423	60.3	31.9	2.1	1.1	5.2	0.5	92.2	3.2
市民 (%)	571	52.0	34.9	7.0	1.1	4.9	0.2	86.9	8.1
駐車場事業者 (件数)	39	16	15	7	1	-	-	31	8

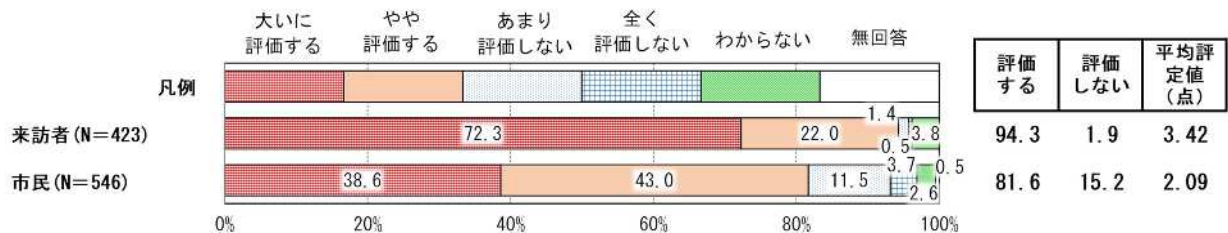
(2) 来訪者へのおもてなし

◆あなたは、この税が「来訪者へのおもてなし」に使われていることについて、どのように思いますか。(来訪者：問8、市民：問6、駐車場事業者：問3)

歴史と文化の環境税の使いみちで「来訪者へのおもてなし」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が94.3%、市民が81.6%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が33件中31件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同1件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

来訪者へのおもてなし（来訪者・市民）



来訪者へのおもてなし（駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

《参考》 来訪者へのおもてなし [令和4年度結果]

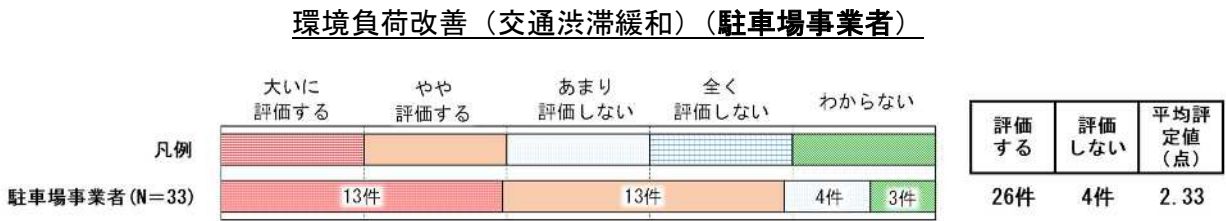
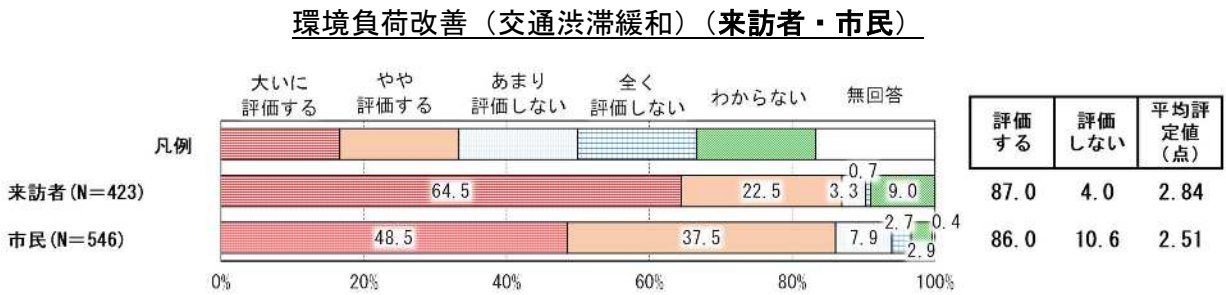
	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者 (%)	423	57.9	32.6	2.8	0.2	5.7	0.7	90.5	3.0
市民 (%)	571	43.3	39.6	10.5	2.8	3.7	0.2	82.9	13.3
駐車場事業者 (件数)	39	17	14	8	-	-	-	31	8

(3) 環境負荷改善（交通渋滞緩和）

◆あなたは、この税が「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」に使われていることについて、どのように思いますか。（来訪者：問9、市民：問7、駐車場事業者：問4）

歴史と文化の環境税の使いみちで「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が87.0%、市民が86.0%といずれも8割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が33件中26件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同4件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

《参考》 環境負荷改善（交通渋滞緩和）[令和4年度結果]

	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者（％）	423	49.6	32.6	9.0	1.2	7.3	0.2	82.2	10.2
市民（％）	571	45.0	40.5	8.4	2.3	3.7	0.2	85.5	10.7
駐車場事業者（件数）	39	16	15	7	1	-	-	31	8

4. 来訪者に財源を求める取り組みへの評価

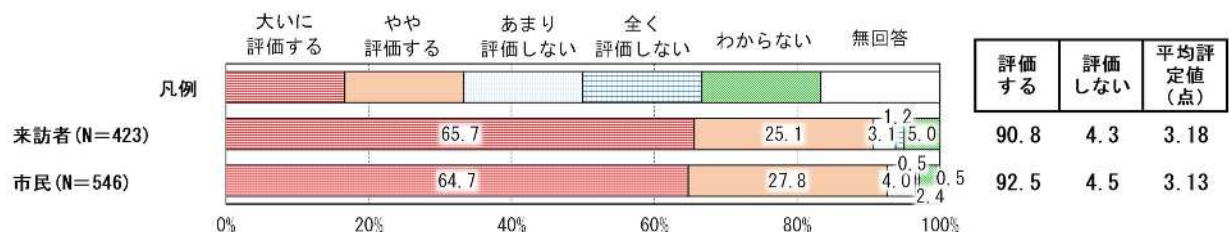
◆あなたは、「来訪者」にも税を課し、まちづくりの財源として活用するこの取り組みをどのように思いますか。(来訪者：問10、市民：問8、駐車場事業者：問5)

来訪者に財源を求める取り組みへの評価についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が90.8%、市民が92.5%といずれも9割を超え、高い割合を占めている。また、駐車場事業者は、「評価する」（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が33件中22件となっており、「評価しない」（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同9件となっている。

前回調査結果と比較すると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者で3.8ポイント、市民で5.8ポイント、事業者で1件増加している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

来訪者に財源を求める取り組みへの評価（来訪者：市民）

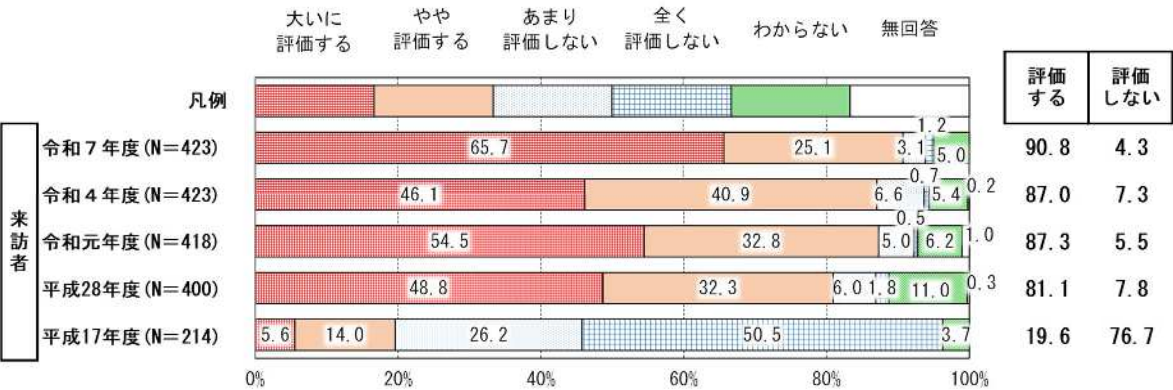


来訪者に財源を求める取り組みへの評価（駐車場事業者）

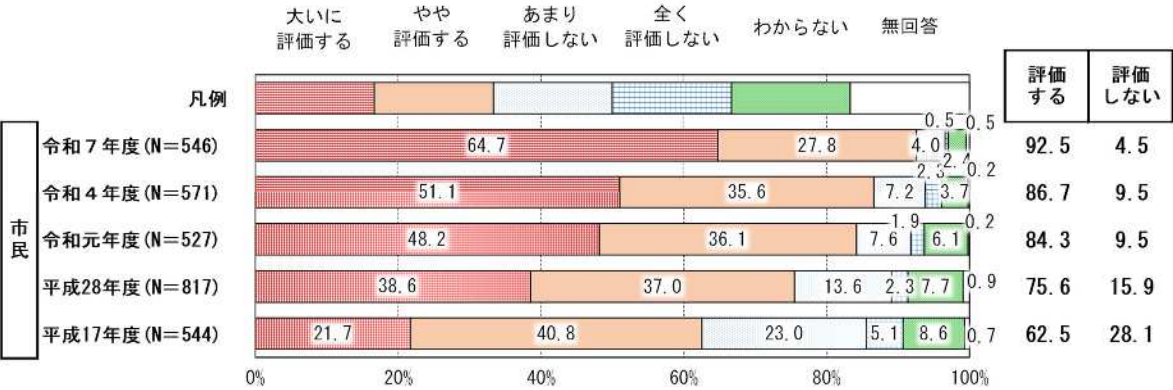


※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

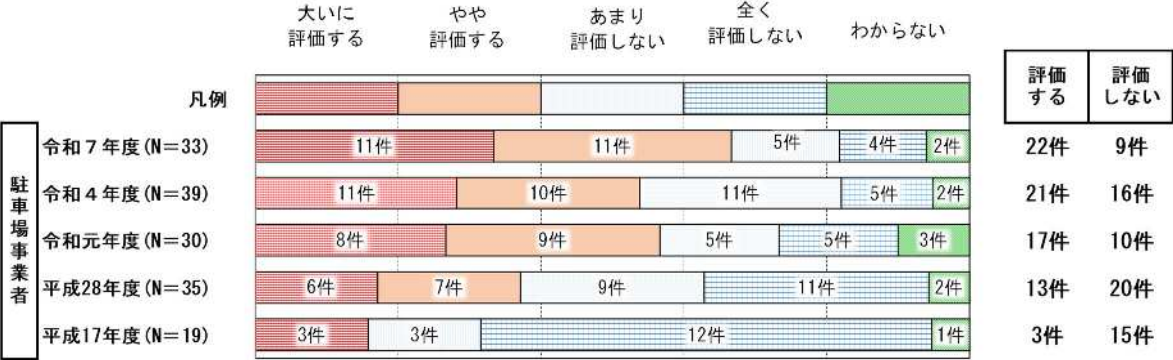
来訪者に財源を求める取り組みへの評価（来訪者時系列比較）



来訪者に財源を求める取り組みへの評価（市民時系列比較）



来訪者に財源を求める取り組みへの評価（駐車場事業者時系列比較）



5. 歴史と文化の環境税の今後のあり方

(1) 今後の継続意向

◆この税制度は、3年ごとに見直しも含めた協議を行っています。この税を今後どうすべきか、あなたはどのように思いますか。(来訪者：問11、市民：問9、駐車場事業者：問7)

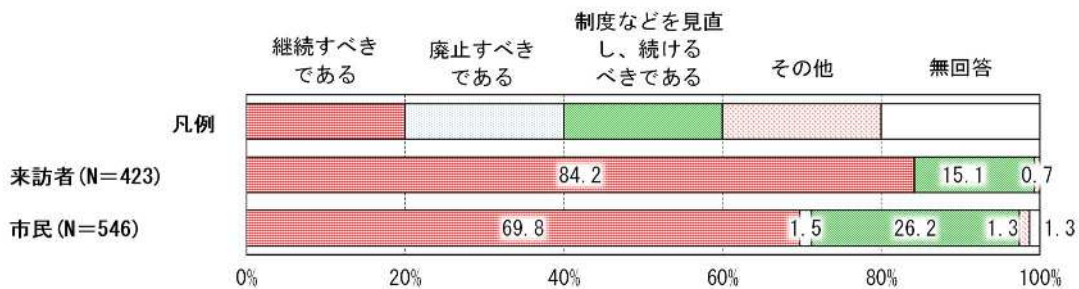
歴史と文化の環境税の今後の継続意向についてみると、「継続すべきである」は来訪者が84.2%、市民が69.8%で最も高く、次いで「制度などを見直し、続けるべきである」が、来訪者15.1%、市民26.2%の順となっており、「廃止すべきである」は来訪者が0%、市民が1.5%となっている。『続けるべき』(「継続すべきである」と「制度などを見直し、続けるべきである」の合計)は、来訪者が99.3%、市民が96.0%という結果となった。

また、駐車場事業者は、「廃止すべきである」が33件中11件、「制度などを見直し、続けるべきである」が同14件、「継続すべきである」が同8件の順となっている。『続けるべき』(「継続すべきである」と「制度などを見直し、続けるべきである」の合計)は、33件中22件という結果になった。

前回調査結果と比較すると、「継続すべきである」は来訪者で6.9ポイント増加しているが、「制度などを見直し、続けるべきである」は6.2ポイント減少している。市民では「継続すべきである」で4.8ポイント増加しているが、「制度などを見直し、続けるべきである」で2.3ポイント減少している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

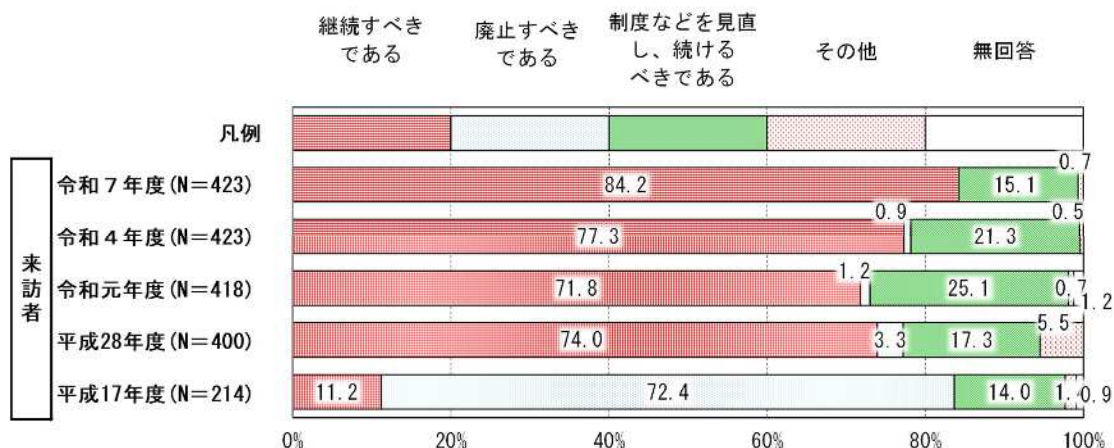
今後の継続意向（来訪者・市民）



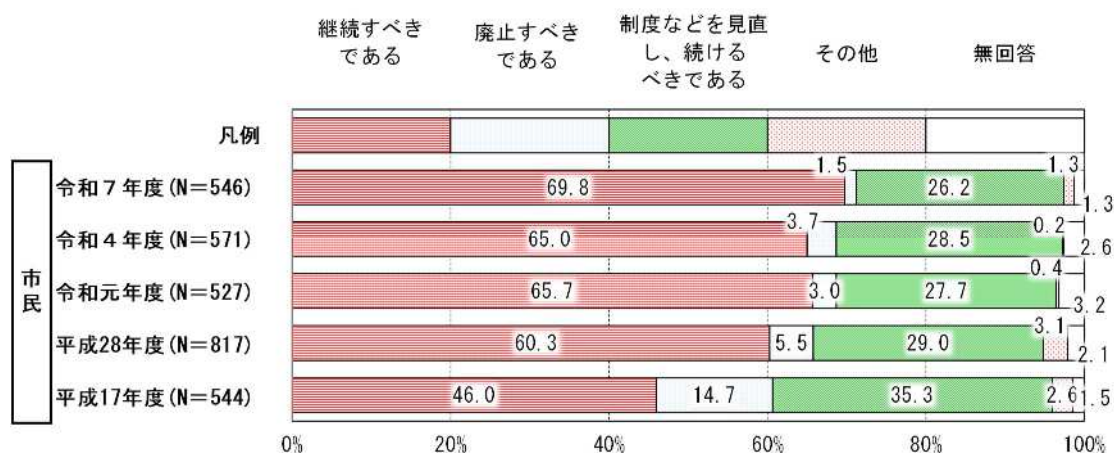
今後の継続意向（駐車場事業者）



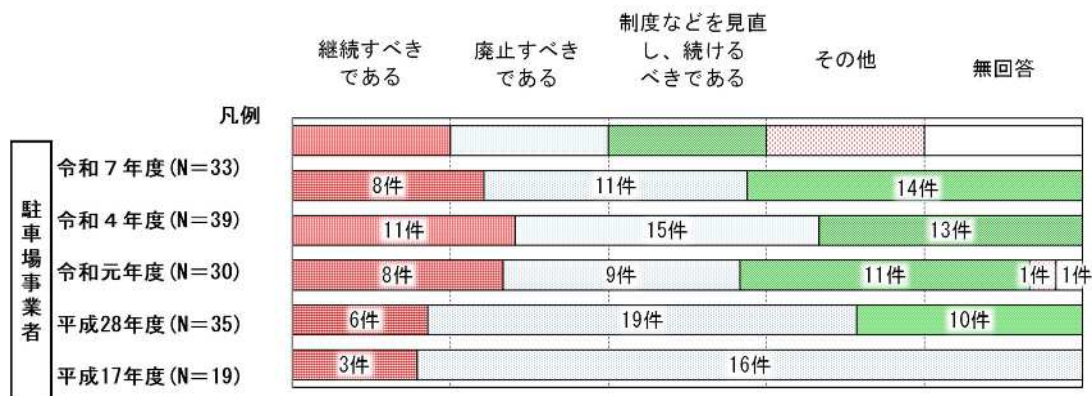
今後の継続意向（来訪者時系列比較）



今後の継続意向（市民時系列比較）



今後の継続意向（駐車場事業者時系列比較）



(2) 歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価

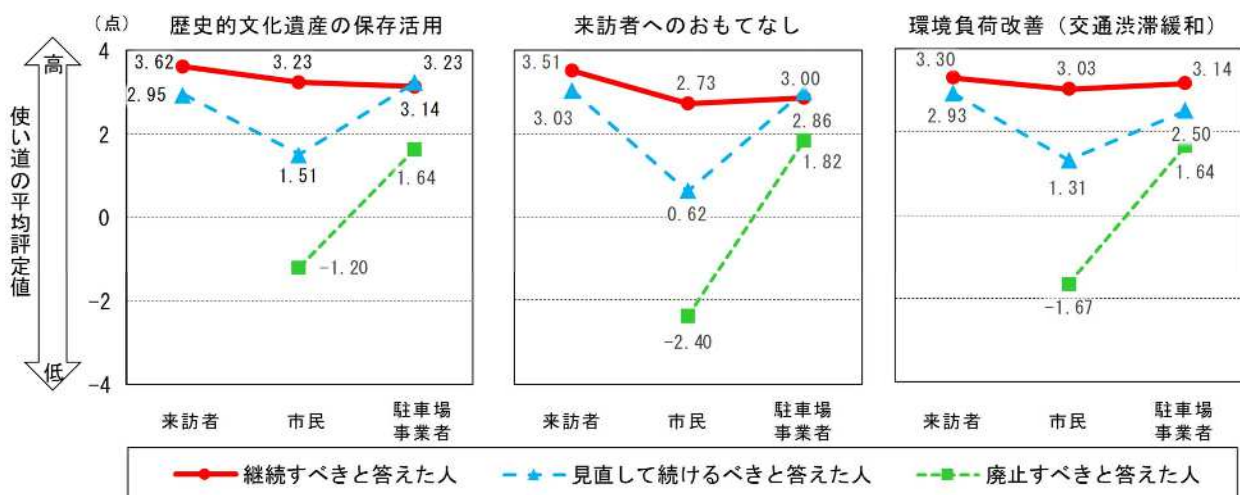
「歴史と文化の環境税を今後どのようにしていくか」の考え方と調査対象者別に、税の使い道の評価を得点化した。

環境税を「継続すべき」と回答した人は、すべてにおいて使い道の評価はプラスとなっている。対象者別にみると、すべての使い道で来訪者の評価が駐車場事業者と市民より高くなっている。

環境税を「廃止すべき」と回答した人は、来訪者と市民の使い道の評価は、マイナスもしくは0となっている。駐車場事業者は、すべての使い道でプラス評価となっている。

環境税を「見直して続けるべき」と回答した人は、すべてにおいて使いみちの評価はプラスとなっている。対象者別にみると、「歴史的文化遺産の保存活用」は駐車場事業者が、「来訪者へのおもてなし」と「環境負荷改善（交通渋滞緩和）」は来訪者が最も高くなっている。

歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価（来訪者・市民・駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

(3) 継続すべき理由

◆「継続すべきである」と回答された方

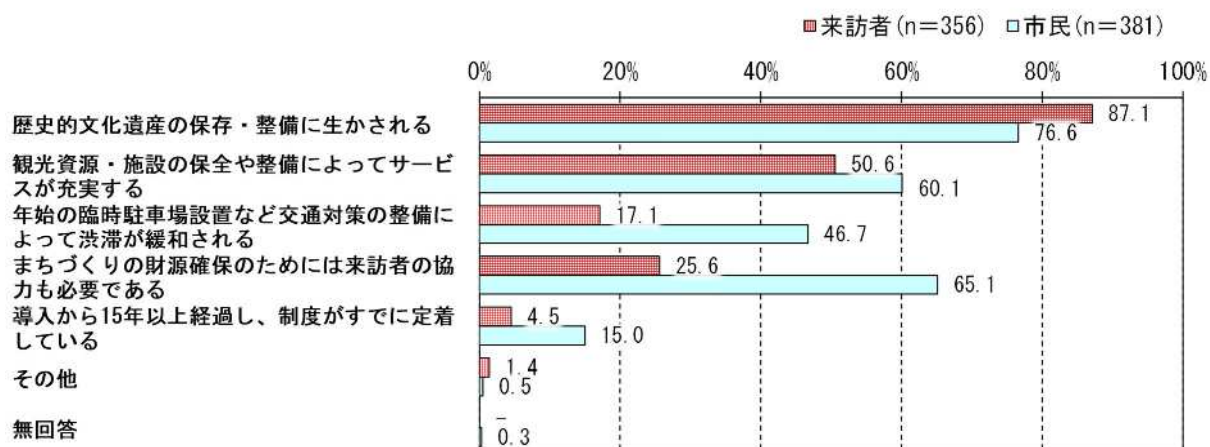
あなたが、この税を今後も継続するべきだと思う理由は何ですか。

(来訪者：問 12、市民：問 10、駐車場事業者：問 8)

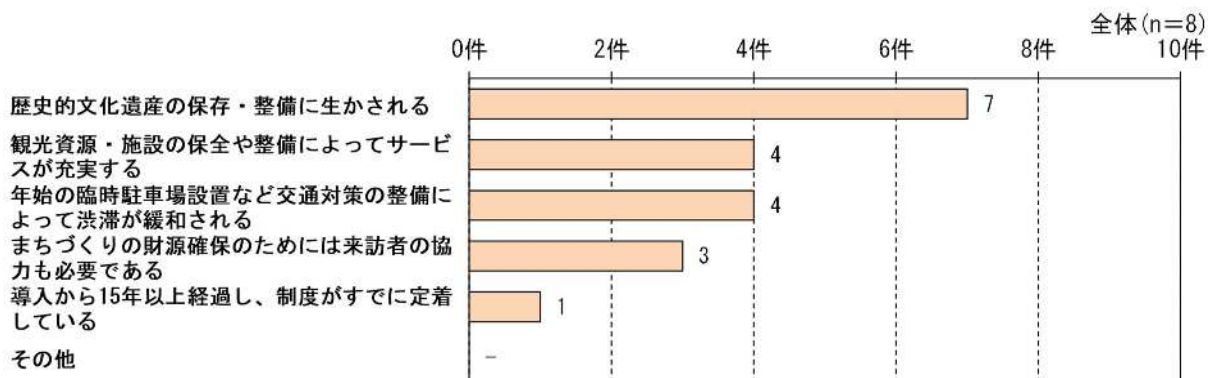
歴史と文化の環境税を継続すべき理由についてみると、来訪者、市民共に「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」(来訪者 87.1%、市民 76.6%) が最も高くなっており、来訪者では次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」(50.6%)、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」(25.6%)、市民では次いで「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」(65.1%)、「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」(60.1%) の順となっている。また、駐車場事業者は、「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」(8件中7件) が最も多くなっており、次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」と「年始の臨時駐車場設置など交通対策の整備によって渋滞が緩和される」(共に同4件) の順となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

継続すべき理由 [複数回答] (来訪者・市民)



継続すべき理由 [複数回答] (駐車場事業者)



(4) 廃止すべき理由

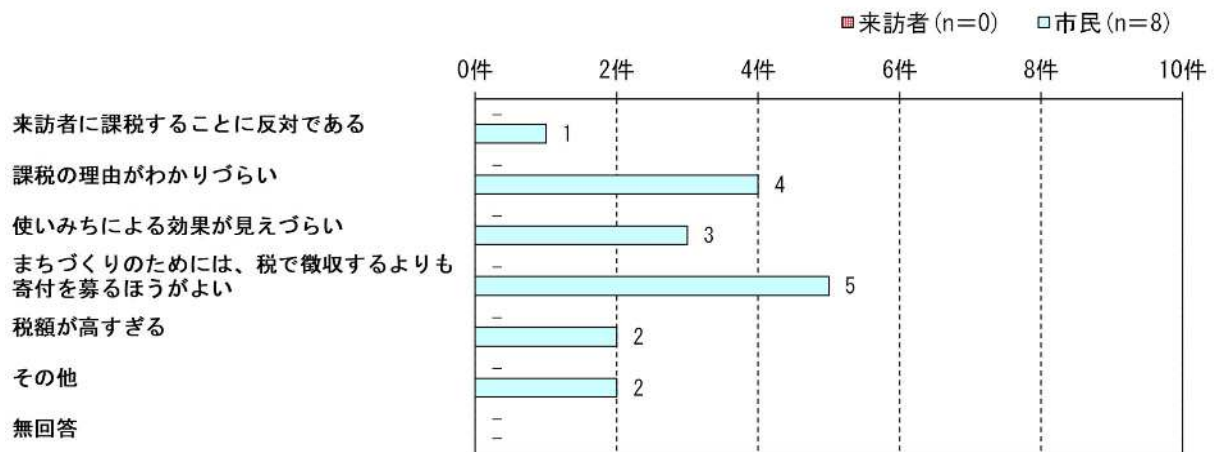
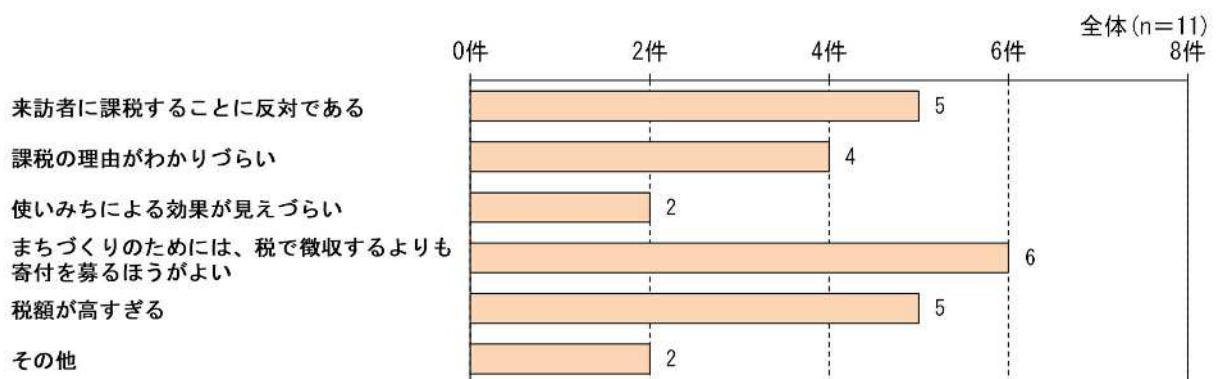
◆「廃止すべきである」と回答された方

あなたが、この税を今後は廃止すべきであると思う理由は何ですか。

(来訪者：問 13、市民：問 11、駐車場事業者：問 9)

歴史と文化の環境税を廃止すべき理由についてみると、市民は「まちづくりのためには、税で徴収するより寄付を募るほうがよい」(8件中5件)が最も多く、次いで「課税の理由がわかりづらい」(同7件)の順となっている。また、駐車場事業者は、「まちづくりのためには、税で徴収するより寄付を募るほうがよい」(11件中6件)が最も多くなっている。

※いずれもサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

廃止すべき理由〔複数回答〕(来訪者・市民)廃止すべき理由〔複数回答〕(駐車場事業者)

(5) 見直すべき内容

◆「制度などを見直し、続けるべきである」と回答された方

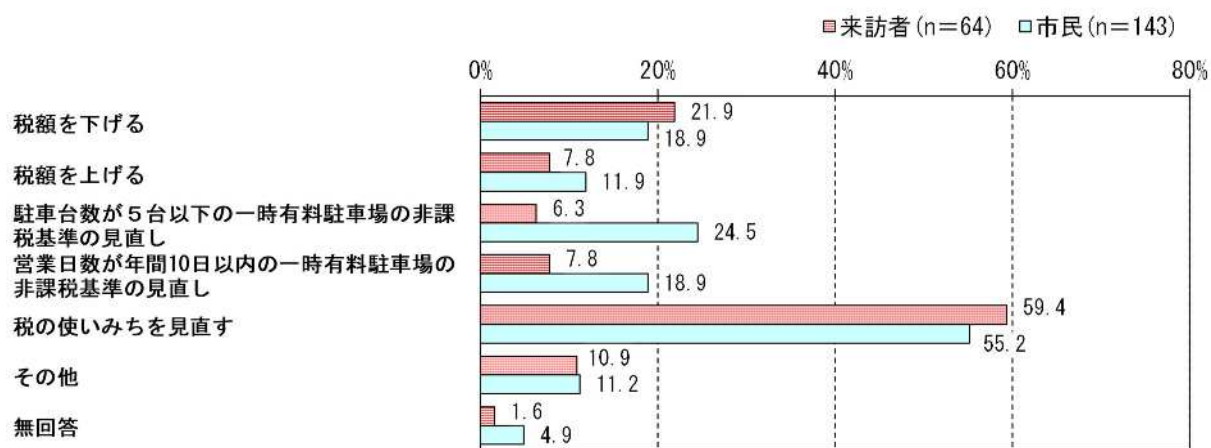
あなたは、どのような見直しが必要だと思いますか。

(来訪者：問 14、市民：問 12、駐車場事業者：問 10)

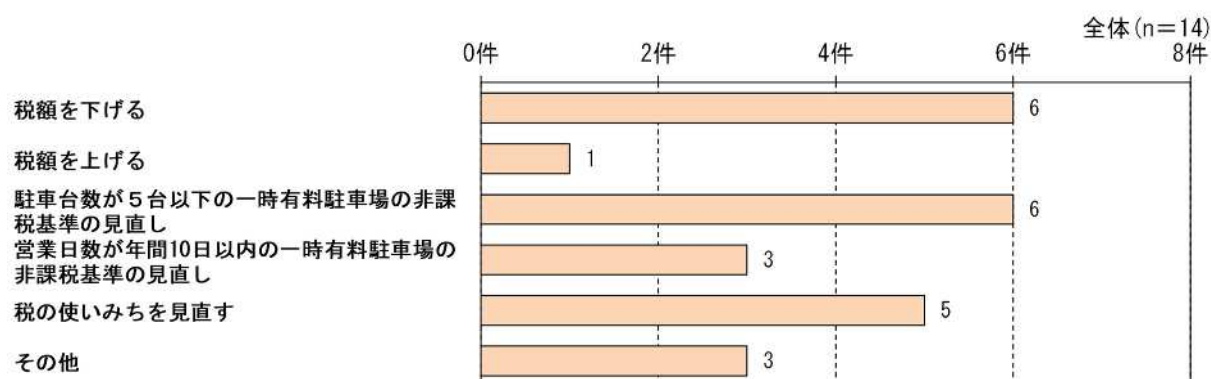
歴史と文化の環境税の見直すべき内容についてみると、来訪者、市民共に「税の使いみちを見直す」(来訪者 59.4%、市民 55.2%)が最も高く、来訪者では次いで「税額を下げる」(21.9%)、市民では次いで「駐車場台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」(24.5%)の順となっている。また、駐車場事業者は「税額を下げる」と「駐車台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」(ともに14件中6件)が最も多く、次いで「税の使いみちを見直す」(同5件)の順となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

見直すべき内容〔複数回答〕(来訪者・市民)



見直すべき内容〔複数回答〕(駐車場事業者)



6. 歴史と文化の環境税への意見

◆最後に、歴史と文化の環境税についてご意見などがありましたら、お聞かせください。

(来訪者：問 15、市民：問 13、駐車場事業者：問 11)

歴史と文化の環境税について、全体で来訪者から 214 件、市民から 192 件、駐車場事業者から 11 件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

来訪者（駐車場利用者）

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)	年齢	居住地
◆税の使い道について(86件)		
①文化遺産の保存と活用(30件)		
歴史ある所だから永く保ってほしい。なので、その為には環境税は必要な事だと思う。永く継続して下さい。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
色々活用するのも良いと思いますが出来れば文化や歴史のみに活用して欲しい。	30～39歳	九州(福岡県を除く)
歴史と文化保存に活用して頂ければ未来の子供達の為に必ず残してほしい。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
②来訪者へのおもてなし(6件)		
観光する人が気持ち良く過ごせるとまた太宰府へ来たいと思うのでおもてなしに使ってほしい。	30～39歳	九州以外の都道府県
ペットと同伴できる場所を増してほしい。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
税で太宰府をより良くして多くの方に喜んで帰り、また人をつれて来て頂きたいです。その為には、税だけでは大変だと思う。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
③環境負荷の改善(17件)		
障害者にも歩きやすいようにすること等に使ってほしい。	50～59歳	九州以外の都道府県
参道がもっと通りやすい、車イス等も行来しやすい整備に使うとよい。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
電車の踏切等対策に使ってほしい。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
④使い道全般(33件)		
環境税の使い道として(子供向けを対象)としたイベント等にも使ってもらえると子供達にも楽しい思い出が残ると思う。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
花などを参道にもっと置いてくれればいいと思う。	29歳以下	九州以外の都道府県
観光地の為迷惑がいろいろと掛かる為近隣の方への配慮として対策をする事も考えて欲しい。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
昔ながらのものを海外の人にも知らせるものに使うとよい。	70歳以上	九州以外の都道府県
目的通り使ってもらえれば良いと思う。	40～49歳	九州以外の都道府県
◆歴史と文化の環境税の制度について(88件)		
ひとりひとりの負担が少ないのでよいと思う。	29歳以下	九州以外の都道府県
歴史を守る為に、税をとる事に対し、違和感ない。今後も、進められて良いと思う。	40～49歳	九州以外の都道府県
環境税を徴収する事により来訪する側にもメリットがあると言う事を知り是非継続して欲しいと思う。	40～49歳	九州以外の都道府県
環境税として使うとしたらもっと取られてもいいんじゃないかと思う。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
まちづくり きれいな太宰府である為にもまた来たいのでこのまま継続してもらってもよい。	40～49歳	九州以外の都道府県
市の取組としてはとても素晴らしい 文化を守ると言う事次世代への継承。是非とも継続すべき事だと思います。	60～69歳	九州以外の都道府県
・観光に来て良かった楽しかった(きれいだった)等を旅のおもいでとして頂く為にも環境税は必要だと思う。・環境税は、消費税等と同じく、訪問する方が支払う、又おさいせんの一部と考えても良いと思う。	60～69歳	太宰府市内
駐車時間に対して料金が高いので税も下げてもいいのかと思う。	70歳以上	九州以外の都道府県
これだけインバウンドの方が多いのでわざわざ税金から使わなくてもよいのではと思う。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
◆制度の周知や理解促進(16件)		
環境税を知らなかった。もっと周知してもらおうようにするべきだと思う。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
初めてきたのでよくわからないが環境税を知れて良かった。	60～69歳	九州以外の都道府県
駐車場料金を一律にして環境税として使っていることをもっとアピールした方がよいと思う。	60～69歳	太宰府市内
環境税を使ってこういう所が良くなったと発信する方が良い。	50～59歳	九州(福岡県を除く)
◆その他(24件)		
正月等、駐場所がたりない時、同じ市民の企業である病院、ゆめ畑など駐車提供等、協力したら良いと思う。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
太宰府天満宮のまわりを整えるのは福岡県にとっても良いと思う。	70歳以上	九州以外の都道府県
外国の方を対応につかって、国際的太宰府にする。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
他の県・市もその環境にあった税を考えて使用されたら良いと思う。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)

市民

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)	年齢	居住地
◆税の使い道について(76件)		
①文化遺産の保存と活用(3件)		
太宰府市は令和ゆかりの地とも言われるように歴史的に見ても素晴らしい場所だと思うのでその歴史か、文化を守るために税は使われるべきだと思う。	29歳以下	太宰府西小学校区
このまま継続しながら歴史的なものなど、守ってほしいと思う。	50～59歳	太宰府東小学校区
②来訪者へのおもてなし(1件)		
外国語観光パンフレット制作は紙を利用して大量に作るのはあまりエコではないため、スマホで見れるようにした方がいいと思う。	29歳以下	福岡県内(太宰府市を除く)
③環境負荷の改善(54件)		
もっと天満宮周辺の渋滞の改善に使われてほしい。	29歳以下	国分小学校区
御笠川沿いの桜並木の整備(草刈り)の回数を増やしてほしい。	50～59歳	水城小学校区
太宰府市、地元の方が苦にならない外国人(マナー、日本の風習)を守る環境を、自然を御願い致します。	50～59歳	太宰府南小学校区
太宰府駅周辺ばかり美化されていると思うので天満宮への道路整備や車が混みにくくなるようにできたらと思います。太宰府市全体が美化される事が望ましいです。よろしくお願いします。	30～39歳	太宰府小学校区
桜並木は桜が枯れて伐株だけ残っている箇所が目立つ。次に備えて植えていく等、長期的な計画も必要。	70歳以上	水城小学校区
交通渋滞の解消(五条交差点の矢印、片方ではなく両方向に欲しい)などに大いに使してほしい。歩道のゴミ問題、疲れた時のいすの設置など、いろんな問題はあと思うが、地域の方が天満宮迄楽しみでいけるようなことに使してほしい。	70歳以上	太宰府南小学校区
交通渋滞対策をしっかりやっていただきたい。	70歳以上	太宰府東小学校区
草刈りを早めにしてほしい。どこも草刈りが間に合ってなく、観光としても良くない。	60～69歳	水城小学校区
環境税については知っていましたが、その税が地域住民に還元されているとは思いません。交通渋滞はわかっていますが近年は生活道路でも渋滞で少し困ります。	60～69歳	太宰府小学校区
主には太宰府天満宮周辺への対策だと思うので、私自身は国分小学校区なので特に不便や不満はないのですが、対象地区周辺の方々が日々の生活に不自由がないようにしてほしいです。あとは土地の問題もあるかと思いますが、宿泊施設があればもっと来訪者も増えるのになとは感じます。	40～49歳	国分小学校区
④使い道全般(18件)		
歴史と文化の環境税があることによって、文化遺産の保全・整備が進むのは良い事だと思います。一方で、観光資源のある太宰府天満宮周辺から離れた場所の公園やトイレなどにはあまり整備がなされていないので場所による格差を感じます。財源が限られている中でなかなか難しいかと思いますが他の地域にも還元して頂きたいと思います。	50～59歳	水城小学校区
来訪者が多く来ることで太宰府市が活気づくことはいいことだと思いますが、本税が「おもてなし」に対して重点的に使われていることは少し残念に思います。長年太宰府に住んでいますが年々太宰府らしさがなくなっているように感じます。来訪者のおもてなしも大事ですが太宰府本来の良さに税金を使って頂きたいと感じます。太宰府市民に還元して頂きたいです。	40～49歳	太宰府東小学校区
文化財の保存整備やトイレ、道路の清掃、警備等に使うのはいいと思いますが、観光に関して外国人観光客に向けて税金を使うのは反対です。外国人観光客が増える事は太宰府天満宮付近のお店等の極一部に対してはいい事だと思いますが、多くの一般市民にとってはマナーも含めメリットはありません。	40～49歳	水城西小学校区
観光客を呼び込むためのものではなく、オーバーツーリズムによって迷惑している市民のために使してほしい。	70歳以上	太宰府南小学校区
観光客、地元の人どちらにも恩恵のある形で今後も継続したいです。特にごみ対策などオーバーツーリズム対策に使われることを望みます。	50～59歳	水城西小学校区

市民（つづき）

歴史と文化の環境税への意見（主な意見）	年齢	居住地
◆歴史と文化の環境税の制度について（49件）		
来訪者のための事業を来訪者に負担してもらうのはいいことだと思う	60～69歳	太宰府西小学校区
良い取り組みだと思います。何でも来たいと思える観光地になれるように、きれいな町づくりや文化遺産の保存・整備などの財源確保は重要だと思います。	50～59歳	水城小学校区
他自治体で多く導入されている宿泊税に趣旨目的が近いと考えれば、来訪者への課税も問題なく、太宰府市に相応しい先進的な取組であったと評価する。	50～59歳	太宰府小学校区
特にはないですが、来訪者は文化を見に来る人がほとんどなので税を取っても良いと思います。	70歳以上	国分小学校区
太宰府が歴史ある観光地なので来訪者にある程度課税しても良いと思います。	29歳以下	水城西小学校区
環境税が全国でさきがけの取り組みだったと思う。当初賛否両論あったが、保全のための財源確保に仕組み、今となっては各方面当り前となり、良かったと思う。	70歳以上	水城小学校区
環境税があることも、その使いみちについても全く知らなかったもので、これから、継続して、キレイな町づくりに役立ててもらいたい。	50～59歳	水城西小学校区
◆制度の周知や理解促進（6件）		
長年本市に住んでいますが、「歴史と文化の環境税」は全く知らなかったです。もう少し広く周知すべきだと思います。税の使い道が分かれば市民も安心なので。水城跡のコスモスは毎年楽しみにしています。まさかこのような税で植えられているとは…知る事ができてよかったです。	40～49歳	水城西小学校区
正直今回のアンケートの件がなければ歴史と文化の環境税について、知らないままだったと思います。広報だざいふ等に記載されていてもなんとなく目を通していて気づかなかったのかもしれませんが。アンケートに同封されていた資料のようなわかりやすいもので市民にも広く伝えていただければ、と思います。	60～69歳	太宰府西小学校区
市民、観光来客の人にも、もっと税のあり方をアピールしてほしい。ポスター等をもっと増やしてほしい。	70歳以上	水城小学校区
◆その他（61件）		
私は高校3年生ですが、このように税が有効活用されていることを知って本当に良かったと思います。太宰府市は歴史が魅力の街なので、続けてほしいです。来訪者の目にあまる行いを時としてみます。文化遺産保全整備に有効に使ってほしいです。「ダメなことはダメ」と明確に伝える方法があるといいですね。	29歳以下	水城西小学校区
太宰府のイベント、登山系(四王寺、宝満山)イベントを増やしてもいいのかと。サイクリングコースmapイベント、小中学生など。	70歳以上	太宰府西小学校区
この目的税制定から23年も経過し、県の宿泊税導入やインバウンド対策など時代の変化に対応すべき。このため、既得権化した税はいったん廃止し、クラウドファンディングや高額所得者の寄付など新たな財源確保を考えるべき。	50～59歳	水城小学校区
近年、観光公害が深刻になりつつあります。天満宮近辺では生活が困難と言っても過言ではありません。正直に言って観光客を減らして欲しいです。	60～69歳	太宰府東小学校区
観光客のみならず、良い印象を持っていただくために大切です。宝満山、四王寺山の登山ルートも、もっとPRできるといいと思います。	30～39歳	太宰府小学校区
環境税と併せて観光税も検討すべきである。オーバーツーリズムの影響で地域住民の生活に悪影響がでている事を考えると、税率を上げる又は、増す事により交通渋滞やゴミ問題等の整備をすべきである。歴史や文化は太宰府市の財産であるがそこに住む住民の生活を守る事も大切であると思う。	70歳以上	水城小学校区
	70歳以上	国分小学校区

駐車場事業者

歴史と文化の環境税への意見（主な意見）
◆税の使い道について（5件）
④使い道全般（5件）
限られた予算で徴収者の努力により集められたものである。総花的に配布するのではなく、観光振興に集中的に利用されたい。只越交差点にもライブカメラを設置するなど太宰府市に出入りする方々にリアルな道路状況を提供してもらいたい。高雄、君畑等主要交差点
・市内を周遊しやすいための整備（公共交通機関、道路）
・滞在しやすいための整備（宿泊施設、飲食店）
歴史的文化遗产の保存、整備に重点を置き過ぎると、その町に暮らす人々の快適な暮らしの場が少なくなっている。例えば、公園はボール遊び、自転車乗り入れ、犬の散歩等、禁止している所が多い。何のための公園だろうか最近思う。（×××ばかり…）外部から人を呼び込み、喜んでもらうための歴史税である。ただし、住人（太宰府市民）の豊かな街づくりは出来ているか！周りの市と比較すると人口、特に小・中学生達は少なくなっている。観光客ばかりに目を向けず、住人（特に子供達）の環境を整えて行きましょう。※少し主旨とずれますが…。
今後よりよい税金の使い道をお願いします。
◆歴史と文化の環境税の制度について（4件）
問10でも記入しましたが、税金が問1の表の様な使い道として利用されている事は承知しましたが、駐車場として土地購入費や整備費、除草剤等維持するだけでも大変な上、固定資産税とは別に歴史と文化の環境税が課税される事自体、認識が無かったもので、まず投資した資金回収が終わった後のこの環境税導入だと納得がいく。それまでは課税免除もしくは税率を下げてほしい。基本的には太宰府にお越しになる方から徴収することに反対。ライトアップなど必要ない。
環境税の使いみちから、駐車場利用者だけに負担を求めるのは不公平ではないか。対象や徴収方法を見直すべきでは。駐車料500円につき20%の税は高すぎるのでは。見直しが必要と考える。環境税導入により交通渋滞がどれだけ緩和されたのですか。もう少し税額を下げていただければ、もっと事業しやすくなります。
◆その他（1件）
歴史とみどり豊かな文化のまちの創造のための財源確保を目的とされた、歴史と文化の環境税の環境条例と景観条例は、車の両輪だと思います。景観条例に違反している、看板等に対して、注意喚起もなされていないのはいかがなものかと思います。太宰府における、固有の風情、情緒、たたずまいなど良好な歴史的環境を維持するための、相当な時間とお金をかけて進めてあります。それに相反することが日常おこなわれている事も事実であり、非常に残念なことである。

7. 特別徴収事務について

◆「歴史と文化の環境税」の徴収事務（特別徴収）についてどのように思われますか。

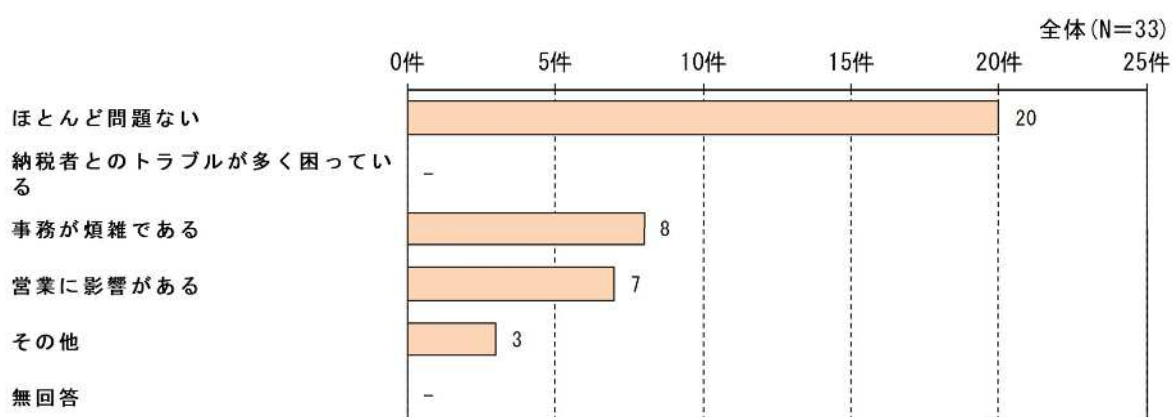
（駐車場事業者：問6）

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

駐車場事業者が「歴史と文化の環境税」の特別徴収事務（特別徴収）についてどのように思うかについてみると、「ほとんど問題ない」（33件中20件）が最も多くなっており、次いで「事務が煩雑である」（同8件）の順となっている。

前回調査と比較すると、「ほとんど問題がない」が最も多い傾向は変わっていない。

特別徴収事務について〔複数回答〕



特別徴収事務について〔複数回答〕（時系列比較）

